令和５年度

中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書

（ダイジェスト版）

令和６年１０月

中頓別町教育委員会

はじめに

平成１９年６月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに町民に対する説明責任を果たすために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第２６条の規定に基づき、令和５年度の教育委員会の活動状況や事務事業の点検・評価を実施し、報告するものです。

この点検・評価は「第８期中頓別町総合計画（令和４年４月１日～令和１４年３月３１日)」の基本計画中、「第４章　目指す未来」に定める施策に沿って、毎年度、点検・評価を実施することとしています。

教育委員会としては、この点検・評価の結果を事業改善等に役立てながら、課題や今後の取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図りたいと考えていますので、今後とも皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和６年８月

中頓別町教育委員会

(参考)　地方教育行政の組織及び運営に関する法律　抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目　　次

１．教育委員会の会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．教育委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．法規・規則の制定、計画等の策定状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
４．付属機関等の審議概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
５．令和５年度教育目標並びに施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
（１）中頓別町教育推進計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
（２）教育推進の重点に係る学校等の具体的な取組の総括・・・・・・・・・・・
（３）第７期中頓別町総合計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
６．施策項目(事務事業)ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性・・・・１６
（１）健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり
①　子育て支援と幼児教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
②　学校教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
（２）生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進
①　社会教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
②　社会体育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
③　地域文化の振興と文化財の保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
（３）別紙資料
別紙１　学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績・・・・４７

【資　料】
○宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況　・・・・・・５６
○社会教育関連施設の利用状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
○教育関係団体活動状況
・体育団体関係　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６１
・文化団体関係及びその他教育関連団体関係　・・・・・・・・・・・・・・・６２

１．教育委員会の会議の開催状況

中頓別町教育委員会の会議は原則として公開で、毎月１回開催しています。

この会議において、３名の中頓別町教育委員会委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則の制定など、様々な議題について審議しています。

日　時	付　議　案　件　等	
５．　４．２０（木）	議案	・学校運営協議会委員（認定こども園）の委嘱について　ほか７件
	協議	・５月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか１件
５．　５．２４（水）	議案	・令和５年度児童生徒就学援助の認定について
	協議	・６月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか２件
５．　６．１９（月）	協議	・７月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか２件
５．　７．１８（火）	協議	・８月定例教育委員会議について
	報告	・教育行政報告　ほか３件
５．　８．２４（木）	議案	・令和５年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について　ほか５件
	協議	・９月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか３件
５．　９．２６（火）	議案	・令和５年度教育支援答申内容について
	協議	・１０月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか４件
５．１０．３０（月）	議案	・中頓別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について　ほか２件
	協議	・１１月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか３件
５．１１．１６（木）	議案	・中頓別町寿スキー場スキーパトロール員の委嘱について
	協議	・１２月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか３件
５．１２．２１（木）	議案	・令和５年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村結果の掲載について　ほか１件
	協議	・１月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか３件

日　時	付　議　案　件　等	
６．　１．３１（水）	議案	・中頓別町立小・中学校に係る学校歯科医の委嘱について
	協議	・２月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか４件
６．　２．１９（月）	議案	・中頓別町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について　ほか５件
	協議	・３月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか４件
６．　３．１２（火）	議案	・そうや自然学校管理規則の一部改正について　ほか２件
	協議	・４月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告　ほか４件

中頓別町教育委員会委員名簿

役　職　名	氏　　名	任　　期
教育長職務代理者	石井　英正	R2.10.1～R6.9.30
教育委員	小倉　弘	R3.11.1～R7.10.31
教育委員	澤里　優	R4.12.22～R8.12.21
教育長	相座　豊	R3.7.1～R6.6.30

２．教育委員の活動状況

教育委員は、月１回の定例会やこども園、小・中学校の各種行事及び社会教育関係の行事へ出席するなどの活動をしています。

主な活動状況

日付	曜日	活動内容	場所	出席委員名
4･3	月	認定こども園入園式（1名）	こども園	町長、教育長、校長
4･4	火	着任教職員辞令伝達式	町民センター	教育長他
4･7	金	中頓別小学校入学式（11名） 中頓別中学校入学式（16名）	中小 中中	町長、教育長、議員 町長、教育長、議員
4･10	月	浜頓別高校入学式	浜頓別高校	教育長
4･11	火	管内教育長会議	小、中学校	
4･21	木	定例教育委員会、社会教育委員会	Zoom	教育長
4･14	金	放課後子どもプラン開校式	町民セ	教育長
4･18	火	全国学力学習状況調査	小・中学校	
4･20	木	定例教育委員会 ハワイ語学研修実行委員会 スポーツ推進委員会	町民セ 町民セ 町民セ	教育長他 教育長、次長、主任 教育長他
4･21	金	社会教育委員会	町民セ	教育長、社教他
4･24	月	高校配置計画地域別検討協議会	Zoom	教育長
4･26	水	林野火災予防対策協議会 緑化推進委員会	役場 役場	教育長 教育長
5･1	月	学校建設教職員ワークショップ	町内セ	教委、小中教職員
5･2	火	学校建設教職員ワークショップ	町内セ	教委、小中教職員
5･9	火	ハワイ語学研修保護者説明会	中中	教育長、次長、主任
5･11	木	スポーツ少年団総会 スポーツ協会総会	町民セ 町民セ	教育長、社教他 教育長、社教他
5･12	金	町議会臨時会	役場	教育長
5･13	土	町クリーン作戦	町内	
5･16	火	文科省訪問、国際子ども図書館視察（学校建設）	文科省他	町長、教育長、室長
5･19	金	道立図書館訪問（図書館整備）	道立図書館	教育長、社教主事他
5･21	日	消防団春季演習	消防署	教育長
5･23	火	表教育長（稚内）来訪（退任あいさつ）	教育委員会	教育長、室長
5･24	水	文化財保護委員会視察	松音	教育長、社教、委員

5･24	水	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
5･25	木	教育指導監訪問（中小）	Zoom	小学校長、教頭、教育長
5･26	金	教育指導監訪問（中中） 芝桜まつり実行委員会	Zoom 商工会館	中学校長、教頭、教育長 教育長、社教
5･27	土	スポーツ少年団結団式、町民体力テスト会	中小	教育長、社教
5･28	日	町民パークゴルフ大会	PG場	教育長、社教
6･5	月	教育局　森田靖史次長着任挨拶	教委	教育長
6･6	火	第１回小中交流会（町研主催）	中中	教育長、推進室
6･9	金	町議会　議員全員協議会 新しい学校づくり全体協議会	役場 役場	教育長、推進室 教育長、推進室他
6･11	日	中頓別中学校運動会	中中	町長、教育長、園長、校長、議員他
6･12	月	コンプライアンス確立会議 文化協会総会	Zoom 役場	教育長 教育長（来賓）、社教
6･14	水	管内教育委員連絡協議会	Zoom	教育長
6･19	月	定例教育委員会議 浜高を支援する会	町民セ 浜頓別高校	教育長他 教育長
6･22	木	第２回中頓別町議会定例会（２３日まで）	役場	教育長、次長
6･24	土	認定こども園運動会	こども園	教育長、各校長
6･25	日	町民ソフトボール大会	ふれあいスポーツ広場	教育長、事務局職員
6･27	火	スポーツ推進委員会	町民セ	教育長、社教職員
6･30	金	戦没者追悼平和祈念式	町民セ	教育長、各校長
7･1	土	中頓別小学校運動会	中小	教育長　中校長
7･4	火	第１回学校運営協議会	中中	教育長他
7･6	木	ハワイ語学研修説明会	中中	教育長他
7･11	火	管内教育長会議、管内人事推進委員会	教育局	教育長
7･13	木	文化協会ビールパーティー	町民セ	教育長他
7･14	金	高校配置計画地域別検討協議会	Zoom	教育長、各校長
7･18	火	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
7･19	水	SE-NOコンサート、新しい学校づくりWS	町民セ	教育長他
7･20	木	文化協会ビールパーティー	町民セ	教育長他
7･21	金	町長杯ゲートボール大会	メモリアルパーク	事務局職員
7･25	火	新しい学校づくり教職員WS	中中	教育長、推進室
7･26	水	管内学校経営研	稚内	各校長、教育長

7･26	水	夏休みラジオ体操会	柔剣道場	社会教育
7･27	木	町議会全員協議会 未来への挑戦ハワイ語学研修（４日まで）	役場 ハワイ	町長、教育長、室長 教育長、ダリンT
8･5	土	北緯45度夏祭り	町民セ	社会教育
8･8	火	町議会全員協議会	役場	町長、教育長、推進室長
8･18	金	楢原民之助氏等慰霊祭、物故吏員法要	町内	教育長
8･21	月	教科書採択委員会	稚内	教育長
8･22	火	第２回宗谷管内学力保障会議	Zoom	教育長
8･24	木	定例教育委員会議 駅伝実行委員会	町民セ 町民セ	教育長他 教育長、社会教育
9･2	土	砂金彫り体験（主催：えさしミュージアム）	資料館	加藤志、教育長
9･3	日	第４４回町民駅伝大会	町内	教委事務局
9･13	水	第４回定例町議会（１５日まで）	議場	小、中校長傍聴
9･25	月	１日防災学校	小学校	
9･26	火	定例教育委員会議	町民セ	教育長、社会教育
9･29	金	町議会臨時議会	議場	教育長
10･1	日	管内俳句大会	町民セ	教育長、社教
10･6	金	適応指導教室（フリースクール）開校式	町民セ	教育長
10･12	木	移動教育委員会（道教委）	稚内	教育長
10･16	月	宗谷管内働き方推進会議	Zoom	教育長、次長
10･22	日	中頓別中学校学校祭	中中	町長、教育長
10･23	月	管内人事推進会議	Zoom	教育長
10･24	火	社会教育委員会	町民セ	教育長、社教
10･25	水	第３回　新しい学びの場をみんなで考える会議	町民セ	新しい学校づくり推進室
10･28	土	小学校学習発表会	中小	町長、次長
10･30	月	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
11･1	水	要介護児童対策地域協議会 町長がおじゃまします（松音知） 町長がおじゃまします（あかね）	保健センター 松音知会館 あかね会館	保福課長、教育長他 教育長 教育長
11･4	土	町民文化祭（５日まで）	町民セ	
11･7	火	学校経営訪問	中中	教育長、指導主事
11･10	金	交通安全推進会議 町長がおじゃまします（小頓別）	町民セ 小学校	教育長他 町長、教育長

11・14	火	福島県大熊町夢の森義務教育学校視察	福島	学校づくり推進室
11・16	木	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
11・20	月	新しい学校づくりをみんなで考える会	町民セ	学校づくり推進室
11・21	火	浜頓別高校来訪	町民セ	次長
11・27	月	臨時町議会、議会常任委員会 町長がおじゃまします（２町内）	役場 柔剣道場	次長、推進室長 推進室長
11・29	水	根室花咲小学校、花咲港小学校視察	根室	推進室長、指導主事、主査
12・1	金	早来学園研究会	安平早来学園	推進室、小・中代表
12・6	水	教育長会議	Zoom	教育長
12・12	火	中頓別町・浜頓別町合同学校経営研究会	町民セ	両町学校関係者
12・13	水	第４回定例町議会（１５日まで）	役場	教育長他
12・21	木	定例教育委員会議 総合教育会議	町民セ 町民セ	教育長他 町長、副町長、教育長他
12・22	金	元松音知小校長　舘村章氏高齢者叙勲	札幌市	教育長、炭谷主事
12・23	土	寿スキー場オープン	寿スキー場	
12・25	月	小中学校終業式	各校	
1・4	木	新年交礼会	役場	
1・7	日	20歳を祝う会	町民セ	町長、来賓他
1・12	金	町長がおじゃまします（藤井）	藤井会館	町長、教育長
1・13	土	ジュニアスキー教室（１４日まで）	寿スキー場	教育長、社教
1・16	火	人生100年の学びの拠点・中頓別学園全体協議会	役場	町長、教育長他
1・20	土	一般スキー教室（最終２月１０日） 一般スノーボード教室（２１日まで）	寿スキー場 寿スキー場	教育長、社教 教育長、社教
1・25	木	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
1・31	水	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
2・4	日	ジュニアスキー大会 一般スキー教室（最終日＝５回終了）	寿スキー場 寿スキー場	教育長、教委職員 教育長、社教
2・5	月	町議会いきいきふるさと常任委員会	役場	教育長、推進室長
2・8	木	歩くスキー教室	寿スキー場	教育長、社教
2・15	木	スポーツ推進会議	町民セ	教育長、社教他
2・17	土	こども園発表会	こども園	町長、教育長他
2・19	月	教育委員学校訪問 定例教育委員会議	小・中学校 町民セ	町長、教育委員他 教育長他

2･20	火	学力保障会議	Zoom	教育長
2･27	火	新校舎落成に向けた同窓会寄付の協議	町民セ	教育長、次長、校長、推進室、同窓会
2･29	木	歩くスキー教室最終日	寿スキー場	教育長、社教
3･1	金	第１回定例町議会（８日まで）	役場議場	教育長、次長
3･3	日	スノーフェスティバル	寿スキー場	教育長、事務局職員
3･10	日	中頓別中学校卒業式	中中	町長、教育長
3･11	月	教育局による教育委員会訪問	Zoom	教育長、次長
3･12	火	定例教育委員会議 教職員研修会（学校づくり） 中頓別学園全体協議会	町民セ 町民セ 役場	教育長他 学校づくり推進室 町長、教育長他

３．法規・規則等の制定、計画等の策定状況

令和５年度に改正または制定された教育関係規則の数は１本です。

なお、法規、規則等の制定の状況は次のとおりです。

(1)教育委員会規則

題　　名	公布年月日	施行年月日
中頓別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則	R05.10.1	R05.10.1

４．付属機関の審議概要

中頓別町教育委員会に設置している主な付属（審議）機関は、次のとおりです。

令和4年度には各機関等において、諮問された次の審議事項について、答申等に向けた協議、検討が行われました。

名称・任期	委員数	月　日	審　議　事　項　等
社会教育委員会 R5.04.01～R6.03.31 ※定数10名以内	7名	05.04.21	○報告 ・令和４年度社会教育・社会体育事業について（４月～３月） ○協議 ・令和５年度社会教育・スポーツ推進事業について（４月～３月） ・社会教育関係団体に関する補助金について ・宗谷管内社会教育委員連絡協議会関係について
		05.10.24	○報告 ・令和５年度社会教育・社会体育事業について（４月～９月） ・夢と希望を！感動体験事業に関する補助金事業の実施状況について ○協議 ・文化スポーツ表彰について ・宗谷管内社会教育委員研修会について ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（９月～１２月）
		05.12.19	○報告 ・令和５年度社会教育・社会体育事業について（９月～１２月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（１２月～３月）
		06.03.26	○報告 ・令和５年度社会教育・社会体育事業について（４月～３月） ○協議 ・令和６年度の各種社会教育・社会体育行事について（４月～３月）
スポーツ推進委員会 R5.04.01～R6.03.31 ※定数15名以内	12名	05.04.20	○報告 ・令和５年度社会体育事業について（４月～３月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（４月～３月）
		05.06.27	○報告 ・令和５年度社会教育・社会体育事業について（４月～６月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（６月～１２月）
		05.12.7	○報告 ・令和５年度社会教育・社会体育事業について（６月～１２月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（１２月～３月）
		06.02.15	○報告 ・令和５度社会教育・社会体育事業について（１２月～３月） ○協議 ・スノーフェスティバルについて

名称・任期	委員数	月　日	審　議　事　項　等
		06.03.25	○報告 ・令和５年度社会教育・社会体育事業について（４月～３月） ○協議 ・令和６年度の各種社会教育・社会体育行事について（４月～３月）
中頓別町特別支援教育連携協議会 R4.04.01～05.03.31 ※関係団体・機関等から15名以内	13名	04.04.27 書面開催	○総会 ・令和3年度活動報告、決算報告 ・令和4年度事業計画、予算の承認
		04.05.25 書面開催	○第1回役員会 ・「講演会（学習会）」の講師・内容協議
		04.09.26 Zoom開催	○第2回役員会兼教育支援会議 ・教育支援会議に向けた情報共有と今後の活動について
		04.10.26	○情報交換会 ・構成団体の活動交流 ・12月の教育支援会議の日程決定
		04.11.1 Zoom開催	○令和4年度子育て講演会（中頓別町PTA連合会共催） 講演テーマ「みんなの学校が教えてくれたこと」 講師　木村康子氏（大阪市立大空小学校初代校長）
		04.11.16	○教育支援会議に向けた学校・こども園視察 特別支援コーディネーターによるこども園視察
		04.12.9	○教育支援会議に向けた学校・こども園視察 特別支援コーディネーターによる小学校視察
		04.12.12	○第2回教育支援会議
		05.02.02 書面開催	○第3回役員会　書面開催 ・令和4年度事業報告 ・令和5年度事業計画
合同学校運営協議会 R3.04.01～R5.03.31	24名	04.06.29 19名出席	○第1回合同学校運営協議会 ・中頓別こども園運営方針・具体的取組の説明 ・中頓別小学校学校運営方針・具体的取組の説明 ・中頓別中学校学校運営方針・具体的取組の説明 ・質問・意見 ・学校運営方針・具体的取組の承認 ・新しい学校づくりについて
		05.　. 17名出席	○第2回合同学校運営協議会 ・中頓別こども園運営方針・具体的取組の説明 ・中頓別小学校学校運営方針・具体的取組の説明 ・中頓別中学校学校運営方針・具体的取組の説明 ・質問・意見 ・学校運営方針・具体的取組の承認 ・新しい学校づくりについて
中頓別町文化財保護委員会 R5.04.01～R6.03.31 ※定数7名以内	5名	04.05.24	調査活動（高山植物植栽調査　5/24） ※会議は話し合う議題がなかったため中止
中頓別町育英会 04.05.31～05総会まで	8名	05.05.29 書面開催	○役員会及び総会 ・令和4年度育英会貸付業務等の報告

名称・任期	委員数	月　日	審　議　事　項　等
※会長１・副会長１ 理事若干名・監事 2名			・令和4年度収支決算・監査報告 ・令和5年度の貸付者の選考審査・予算の決定
中頓別学園設置協議会 R4.08.09～R5.3.16	25名	04.08.09 16名出席	○第１回中頓別学園設置協議会 ・基本方針・ビジュアルイメージの検討
		04.09.16 21名出席	○第２回中頓別学園設置協議会 ・基本方針の検討
		04.10.14 23名出席	○第３回中頓別学園設置協議会 ・町民ワークショップ意見集約 ・ビジュアルイメージ策定方針の検討
		05.02.06 20名出席	○第４回中頓別学園設置協議会 ・町民意見集約
		05.02.28 16名出席	○第５回中頓別学園設置協議会 ・町民意見集約

５．令和５年度教育目標並びに施策の体系

（1）　中頓別町教育推進計画

～夢と希望に向かって、豊かな心でたくましく生きる力を育む～

（2）　教育推進の重点に係る学校等の具体的な取組の総括

（3）　第８期　中頓別町総合計画（抜粋）

※別紙「第４　目指す未来」を参照

中頓別町教育推進計画　体系図

基本理念　夢と希望に向かって，豊かな心で，たくましく生きる力を育む

６つの目標	３０の施策項目
目標１ 社会で活きる力の育成	１　義務教育における確かな学力の育成
	２　複式教育の充実
	３　特別支援教育の充実
	４　国際理解教育の充実
	５　理数教育の充実
	６　情報教育の充実
	７　キャリア教育の充実
	８　産業教育の充実
目標２ 豊かな人間性の育成	９　道徳教育の充実
	１０　ふるさと教育の充実
	１１　読書活動の推進
	１２　体験的な活動の充実
	１３　コミュニケーション能力の育成
	１４　いじめ防止や不登校児童生徒への支援の取組の充実
目標３ 健やかな身体の育成	１５　体力・運動能力の向上
	１６　食育の推進
	１７　健康教育の充実
目標４ 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進	１８　家庭教育支援の充実
	１９　幼児教育の充実
	２０　学校と地域の連携・協働の推進
	２１　学びのセーフティネットの構築
目標５ 学びをつなぐ学校づくりの実現	２２　学校段階間の連携・接続の推進
	２３　学校施設・設備の充実
	２４　教員の養成・採用・研修の一体的な改革の推進
	２５　学校運営の改善
	２６　学校安全教育の充実
目標６ 学びを活かす地域社会の実現	２７　生涯学習の振興
	２８　社会教育の振興
	２９　芸術文化・スポーツ活動の推進
	３０　文化財の保存及び活用の推進

第８期　中頓別町総合計画

令和４年４月１日～令和１４年３月３１日

※抜粋

第４　目指す未来

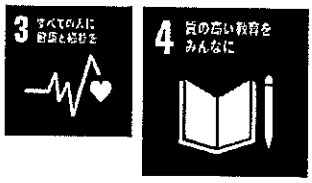
＜第８期計画の施策体系別基本方針＞

教育　将来を生きる力を育むまち

1. 幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

(1) あそびや生活の中で生きる力、探求心・好奇心を育む幼児教育の充実

幼小中一貫とする隙間のない教育の機会を確保し、教育機関が連携できる環境をつくります。

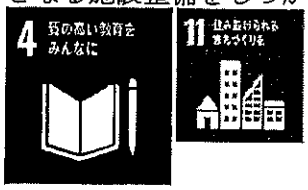


＼取り組みとなる主な事務事業／

・認定こども園事業
・地域子育て支援センター事業
・こどもセンター事業

(2) 自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

新しい校舎づくりと運営体制を整えるため、その学習機会を提供する土台づくりとなる施設整備をしっかり推進します。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

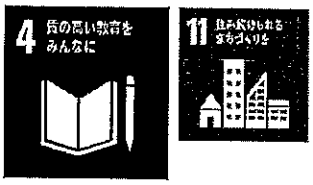
・教育研究指定校委託事業
・教職員健康診断委託事業
・教育研究会運営事業
・特別支援教育連携協議会運営事業
・就学奨励事業
・小学校教育振興事業
・中学校教育振興事業
・中学校改築等推進事業

2. 子どもたちがいずれはまちに戻ってきたいと思える気持ちを育てるまちづくり

(1) 自分らしい生き方を実現するキャリア教育の推進

子どもたちが将来社会人になるときにこの町で暮らしたいと考えてもらえるよう、ふるさと教育の提供に努めるとともに、現児童生徒が卒業生と交流し、どんな社会人を目指せるように考えられる機会の提供づくりを目指します。

また、新しい学校づくりと連携して、どの年齢期においても生涯学習の機会をしっかり提供できる取り組みを目指します。

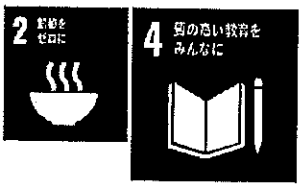


＜取り組みとなる主な事務事業＞

・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業
・青少年健全育成事業
・社会教育推進事業【再掲】

(2) 特色ある教育活動の推進

外国語の学力向上を目指すため、資格検定受検者をサポートするとともに、外国文化との交流を推進するための機会提供に努め、よその自治体にはない教育環境を整えます。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

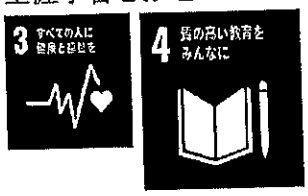
・外国青年招致事業
・英語力育成事業

・学習習慣育成事業補助事業
・学校給食事業（給食費無料）

3. 大人も一緒に学べるまちづくり

(1) 生涯教育の推進

全ての町民がいくつになっても学習をする機会を確保し、異世代交流などによる生涯学習を推進します。

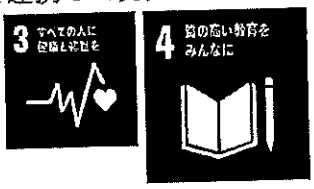


＜取り組みとなる主な事務事業＞
・生涯学習推進事業
・社会教育推進事業
・なかとんべつ子ども読書プラン事業
・文化財保護事業
・社会教育関連施設運営業務

(2) いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

優れた芸術鑑賞の機会提供と、文化団体・サークル活動の支援を図ります。
町民のスポーツ振興に向けた設備環境を積極的に確保し、各年齢期が活躍できるようスポーツ団体の支援を図ります。

また、各種教室や大会等イベント開催を連携して充実を図ります。



＜取り組みとなる主な事務事業＞
・町民文化活動推進事業
・スポーツ推進事業
・町民各種スポーツ大会等運営事業
・冬季スポーツ教室等運営事業
・スポーツ関連施設運営業務

環境　美しい自然を守り共生するまち

1. ふるさとの自然に誇りが持てるまちづくり

(2) ふるさとの自然に誇りをもてる環境教育の推進

豊かな自然環境を活かした環境学習や教育活動に取り組みます。

＜取り組みとなる主な事務事業＞
・そうや自然学校事業
・森のこども園

６．施策項目(事務事業)ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり

①子育て支援と幼児教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
認定こども園事業	急速な少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化に伴い、小学校就学前の子どもに幼児教育・保育等総合的に提供する。 【入所人員】 R4　R5 ・０歳児　２名　２名 ・１・２歳児　10名　８名 ・３歳児　10名　８名 ・４歳児　14名　６名 ・５歳児　12名　８名 合　計　48名　35名 うち短時間利用児　４名　６名	○学校での主体性や判断力を育てる創意工夫のある教育に接続させる視点から、自然環境を生かした「森のこども園」を積極的に行い、遊びの中から体力とコミュニケーション能力の一層の向上を図り学校教育を意識した幼児教育の提供を充実させてきました。新体力テストの結果、敏捷性や跳躍力が高い傾向が見られた。 また、年長児を対象にＡＬＴとの「英語であそぼう」を発展させ、英語を活用した発表を行うとともに、年長児以外のクラスにもＡＬＴが入って一緒に遊び生活することで日常的に英会話に親しむ取り組みを行った。 ○◇職員一人ひとりが、子どもの発達や学びの連続性を理解し、きめ細かな指導や見通しをもった計画の充実を図った。また、保護者が安心して子育てできるよう、助産師や保健師と月１回の定期的な情報共有を行い、効果的な子育て支援体制充実に取り組みました。今後は小学校との連携も図っていく。 また、「なかとんべつ学園」設立をめざして、小学校との連携・接続を一層深めることが必要。 ◇今後も職員の専門性を十分生かし、こども園が保護者の良きパートナーとなり、積極的にサポートしながら、地域全体の「子育て力」の向上に努めていくことが大切。	○学校での主体性や判断力を育てる創意工夫のある教育に接続させる視点から、自然環境を生かした「森のこども園」を積極的に行い、遊びの中から体力とコミュニケーション能力の一層の向上を図り学校教育を意識した幼児教育の提供を充実させてきた。新体力テストの結果、敏捷性や跳躍力が高い傾向が見られた。 また、年長児を対象にＡＬＴとの「英語であそぼう」を発展させ、英語劇の発表を行うとともに、年長児以外のクラスにもＡＬＴが入って一緒に遊び生活することで日常的に英会話に親しむ取り組みを行った。 ○◇職員一人ひとりが、子どもの発達や学びの連続性を理解し、きめ細かな指導や見通しをもった計画の充実を図った。また、保護者が安心して子育てできるよう、助産師や保健師と月１回の定期的な情報共有を行い、効果的な子育て支援体制充実に取り組んだ。また、子ども支援ネットワーク会議を設置し、幼小中、教育委員会、保健福祉課との情報共有を進め、行動連携につなげることができた。 また、「なかとんべつ学園」設立をめざして、アプローチカリキュラムの作成を進め、小学校での保育活動に取り組んだ。 ◇今後も職員の専門性を十分生かし、こども園が保護者の良きパートナーとなり、積極的にサポートしながら、地域全体の「子育て力」の向上に努めていくことが大切。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
地域子育て支援事業	すべての子育て家庭を対象に、子育ての不安に対応した相談や援助の実施。子育て家庭の交流の場の提供及び促進を図る。 【取り組み内容】 ・あそびの広場 ・育児相談 ・文庫開放 ・子育て講演／講座 ・情報の提供	○職員の専門性を生かし、地域の子育て家庭や妊婦を対象に、交流の場や相談の機会を充実させ、安心して利用していただける環境づくりに取り組んできた。 ○生まれてから切れ目のない子育てサポートシステムの構築をめざして保健福祉課との連携を進めている。 ○発達障害など、成長に特別な配慮を要する子どもの「生きづらさ」をサポートするための「個別の指導計画」の取組について保護者と２回懇談を実施して子どもの成長・発達について共有した。 ◇「放課後等デイサービス事業」が廃案になったので、新たに「こども発達支援センター」を立ち上げ、早期療育等のための準備を進める。 ◇今後も、職員の専門的な知識や技術を十分に生かした子育て支援事業を展開し、各関係機関との連携を図りながら、「親育ち子育て」サポートを行っていく。	○職員の専門性を生かし、地域の子育て家庭や妊婦を対象に、交流の場や相談の機会を充実させ、安心して利用していただける環境づくりに取り組んできた。 ○生まれてから切れ目のない子育てサポートシステムの構築をめざしてこども園、小学校、中学校、教育委員会、保健福祉課で構成する教育支援ネットワーク会議を発足させ、情報共有と取組連携を行った。 ○発達障害など、成長に特別な配慮を要する子どもの「生きづらさ」をサポートするための「個別の指導計画」の取組について保護者と２回懇談を実施して子どもの成長・発達について共有した。また、小中学校と同じフォーマットの個別の支援計画を作成し、幼小中連携した個別の支援を進めている。 ◇「こども発達支援センター『くれよん』」の運用及び、個別の発達支援を進めている。 ◇今後も、職員の専門的な知識や技術を十分に生かした子育て支援事業を展開し、各関係機関との連携を図りながら、「親育ち子育て」サポートを行っていく。
放課後児童健全育成事業	保護者の就労形態により、昼間家庭にいない子どもを対象として、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。 【入所人員】 R４　R５ ・1年生　9名　10名 ・2年生　12名　8名 ・3年生　6名　11名 ・4年生　7名　4名 ・5年生　12名　7名 ・6年生　13名　8名 合　計　59名　48名	○平成２８年度から、教育委員会と保健福祉課が連携を図り、一体的に実施する総合的な放課後対策「放課後子どもプラン」を推進している。 登録児童は依然増加傾向にあり、町の児童の放課後の過ごし方の選択肢の１つとして確立されてきている。 ●専門的な職員は配置しているものの、受講しなければならない研修会がある。また、支援員人数減少によりプログラムへの制限が見られる。 ◇年齢層に応じたプログラムを展開し、対象児童の活動内容の充実を図る必要がある。	○平成２８年度から、教育委員会と保健福祉課が連携を図り、一体的に実施する総合的な放課後対策「放課後子どもプラン」を推進している。 町の児童の放課後の過ごし方の選択肢の１つとして確立されてきている。 ●専門職員は配置し、支援員を中心に各種プログラムの展開を図っている。 ◇年齢層に応じたプログラムを展開し、地域指導者との連携を図り、対象児童の活動内容の充実を図る必要がある。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
あいさつ子育て推進協議会運営補助事業	子どもの健全育成を願い、学校・父母・地域住民が共同して活動をする。 【事業内容】 ・子育て看板の設置 ・商工会街頭放送 ・祭典パレードでの参加協力 ・三行詩の取組み（町Ｐ連と連携） ・啓発チラシ等の更新 ・教育講演会への支援協力	○関係機関との連携により子育て啓発活動の推進が図られた。○子育て講演会をオンラインで開催することができた。 ◇本事業は町Ｐ連と連携した事業であることから、令和２年度より中頓別町学校 PTA 連合会に一本化した補助金として、より有意義・効果的活用していきたい。また、次年度以降は対面での講演会を開いていきたい。	○関係機関との連携により子育て啓発活動の推進が図られた。 ○管内 PTA 連合会研修会の開催 ◇本事業は町Ｐ連と連携した事業であることから、令和２年度より中頓別町学校 PTA 連合会に一本化した補助金として、より有意義・効果的な事業の展開を図る。
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	地域住民等の参画による「学校支援地域本部」「放課後子どもプラン」「家庭教育支援」の取り組みを有機的に組み合わせ、より充実した教育支援活動を推進する。 【事業実績】 ○学校支援地域本部事業 ・総合的な学習への支援 ○放課後子どもプラン事業 ・放課後の居場所づくり ○家庭教育支援事業 ・家庭教育講演会の開催	○新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、学校授業や放課後において、地域住民の方々や、他市町村の方々に関わって頂き活動を進めることができた。 教育支援員の登録数も増え、小中学校ともコーディネーターとの定期打合せも継続実施、こども園事業についても整理し進める体制を整えた。 教育委員会と保健福祉課が連携し進めている「放課後子どもプラン」はスタートから７年経過。コロナ対策も兼ね始まった学年別活動も続いており、それぞれの学年に適した活動を実施できている他、従来の縦割り活動も織り交ぜメニュー作りをし、進めている。 親子水泳教室、親子スキー教室などの他、令和３年度より始まった子どもたちのスキーワックスがけ事業も継続開催。また、こども園での人権教室も実施され、家庭教育分野もより一層充実した。 （実績については別紙資料１「令和４年度　学校・家庭・地域の連携による教育支援活動　実績報告」を参照） ◇放課後児童支援員認定資格取得者増を検討していきたい。	○学校授業、放課後において、地域住民の方々や、他市町村の方々に関わって頂き、多くの活動を進めることができた。 小中学校ともコーディネーターとの定期打合せも継続実施、こども園とも担当者間で連携を取る体制が取られ事業が進められた。 教育委員会と保健福祉課が連携し進めている「放課後子どもプラン」はスタートから８年が経過。従来の学年別活動、縦割り活動のほか、児童の意志で選択できる自由活動と、メニューも充実が見られる。 例年通り親子水泳教室、親子スキー教室を実施。また、スキーワックスがけ事業についてはこども園園児、小学校低学年を対象に実施した。 こども園では人権教室、茶道サークルによるお茶会が実施され、家庭教育分野もより一層充実した。 （実績については別紙資料１「令和５年度　学校・家庭・地域の連携による教育支援活動　実績報告」を参照） ◇放課後児童支援員認定資格取得者増を検討していきたい。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
生徒指導連絡協議会運営補助事業	幼児･児童生徒の健全育成、安全指導を関係機関との連携協調を持って、総合的に行う。 【事業内容】 ・総会定例会の開催 ・長期休業中の過ごし方の作成と配布 ・祭典巡視 ・教育講演会への支援協力 【補助金】 **＜令和４年度＞** ・補助金　150,000 円 **＜令和５年度＞** ・補助金　150,000 円	○長期休業期間中における各種啓発活動の実施により関係機関と連携を図り、相互情報交換をしながら幼児・児童・生徒の健全育成が図られている。 ●講演会は新型コロナウイルス感染症の影響で行うことができなかった。 ◇講演会をオンラインでの可能性や PTA 連合会との共催を探りながら行っていきたい。また、「子ども安全パトロール隊」との交流をしていきたい。	○長期休業期間中における各種啓発活動の実施により関係機関と連携を図り、相互情報交換をしながら幼児・児童・生徒の健全育成が図られている。 ○管内 PTA 連合会研修会との共催 ●対面での会議の開催し、関係団体や組織との連携をさらに深める必要がある ◇関係団体や組織の構成員について、構成員が同じため、共催や事業の見直しなど内容の深い取り組みとなるよう展開が必要である。
各種少年教育事業	教育活動の一環として、小中学生に広く親子、地域住民とのふれあいの機会を提供し、地域全体で子どもの健全育成を図る。 【事業内容】 **＜令和4年度＞** ○北緯 45 度ふれあい広場 新型コロナウイルス感染予防のため中止 ○カルタ教室・大会 新型コロナウイルス感染予防のため中止 **＜令和5年度＞** ○管内 PTA 連絡協議会研修会への支援	○各学校で工夫を凝らし、保護者や地域の方々との交流やふれあいが図られる事業の展開が図られている。 ○カルタ教室・大会としては中止としたが放課後子どもプランの児童を対象に教育長からカルタの読み方等を教えていただき、１～３年生にとってカルタを始めるきっかけを作ることができた。 ●今年度は中頓別町子育て講演会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ◇通年での活動を目指し、指導者の確保と楽しく練習できる仕組みづくりが必要である。これにより、管内大会で成績が上がれば練習の励みにしていきたい。また、ここ数年カルタ教室・大会を中止にしていることから、カルタの読み方がわからない小学生が増えているため放課後子どもプラン等で練習する仕組みを整えていきたい。	○各学校で工夫を凝らし、保護者や地域の方々との交流やふれあいが図られる事業の展開が図られている。 ○カルタ教室･大会としては、放課後子どもプランの児童を対象に開催を予定したが、指導者との日程が調整できず開催に至らなかった。 ○今年度は中頓別町子育て講演会を町Ｐ連、生指連、管内Ｐ連と共催で講演会の開催。 ●各関係団や組織との連携を強化し、より効果ある事業の展開が課題である。 ◇ここ数年カルタ教室・大会が開催さておらず、カルタの読み方がわからない小学生が増えているため、指導者の確保育成を含め、放課後子どもプラン等で練習する仕組みを整えていきたい。

②学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
教育委員会事業	教育委員会議開催などの事務に関すること。 **＜令和4年度＞** ・定例会議　12 回 ・臨時会議　 1 回 **＜令和５年度＞** ・定例会議　12 回 ・臨時会議　 1 回	○毎月１回の教育委員会議の中で、教育行政に係る当面する課題解決に向けた審議と協議が行われた。 ○教育委員会議の情報公開をホームページで周知した。 ◇情報公開の徹底と教育現場への応援支援をするためにも、引き続き学校等を訪問して状況の把握に努め、今後こども園・小・中学校一貫の義務教育学校になることから、教育推進がさらに図られるようにする。	○毎月１回の教育委員会議の中で、教育行政に係る当面する課題解決に向けた審議と協議が行われた。 ○教育委員会議の情報公開をホームページで周知した。 ◇情報公開の徹底と教育現場への応援支援をするためにも、引き続き学校等を訪問して状況の把握に努め、今後こども園・小・中学校一貫の義務教育学校になることから、教育推進がさらに図られるようにする。
教育委員会事務局事業	教育委員会規則の定めにより、教育、文化、スポーツ等に関する事務事業を遂行する。	○教育行政を取り巻く様々な機関、団体と協力し、教育行政が抱えている当面する課題解決に向けた取組を進めることが出来た。中学校校舎の建て替えを含め、令和８年の開校を目指した新しい学校づくりについて検討を進めた。 ◇令和８年度には中頓別学園が開校予定になることから、事務局と学校現場等との関係をさらに密にし、子育て環境のさらなる充実に努めていく。 ◇教育推進の更なる向上のためにも、学校教育、社会教育領域の境を無くし、学校現場等を含めた一体感を醸成していく必要がある。	○教育行政を取り巻く様々な機関、団体と協力し、教育行政が抱えている当面する課題解決に向けた取組を進めることが出来た。中学校校舎の建て替え、小学校の中学校校舎への引っ越し、令和８年の開校を目指した新しい学校づくりについて検討を進めた。 ◇令和８年度には中頓別学園が開校予定になることから、事務局と学校現場等との関係をさらに密にし、子育て環境のさらなる充実に努めていく。 ◇教育推進の更なる向上のためにも、学校教育、社会教育領域の境を無くし、学校現場等を含めた一体感を醸成していく必要がある。
教育研究指定校委託事業	各学校における教育効果をより高めるため、特徴ある学校経営の活動について、研究を委託する事業である。 【研究報告】 ・研究紀要 【委託料】 **＜令和４年度＞** ・小学校　50,000 円 ・中学校　50,000 円 **＜令和５年度＞** ・小学校　50,000 円 ・中学校　50,000 円	○教育効果を高めるため学習指導のあり方等を研究することで学校全体での共有化と指導力向上に繋がった。研究の結果として「研究紀要」の報告を受けた。 ◇児童生徒の生きる力を育むため、学習に意欲的に取り組む教育のあり方を身につけるため、情報交換や研究に努めることができるよう支援をする。	○教育効果を高めるため学習指導のあり方等を研究することで学校全体での共有化と指導力向上に繋がった。研究の結果として「研究紀要」の報告を受けた。 ◇児童生徒の生きる力を育むため、学習に意欲的に取り組む教育のあり方を身につけるため、情報交換や研究に努めることができるよう支援をする。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向
公用車両維持管理事業	教育行政に必要な公用車の維持管理及び遠方の児童生徒の通学の足として、スクールバスの安全運行を図る。 【車両台数】 ・事務局用車両　3台 ・スクールバス　6台 【利用者数】 R4　R5 ・こども園　3名　3名 ・小学校　11名　11名 ・中学校　3名　5名 ・高校生　3名　3名	○スクールバスは、児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の帰りの送迎にも対応し、事故も無く安全に運行が図られた。令和３年度から浜頓別高校に遠距離通学している生徒を対象に、路線バスの終点となる中頓別バスターミナルまで送迎を実施した。 ◇宗谷バスによる路線バスに代わり、高校通学用スクールバスの運行が本格的に始まることから、車両修繕に係る修繕計画を立て、安全面を考慮していく必要がある。	○スクールバスは、児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の帰りの送迎にも対応し、事故も無く安全に運行が図られた。令和３年度から浜頓別高校に遠距離通学している生徒を対象に、路線バスの終点となる中頓別バスターミナルまで送迎を実施した。 ◇令和５年度１０月から宗谷バスによる路線バスに代わり、高校通学用スクールバスの運行が始まり、安全に運行が図られた。引き続き車両修繕に係る修繕計画を立て、安全面を考慮していく必要がある。
外国青年招致事業	外国語教育の充実や外国の文化にふれることによる国際交流の推進を図るため、外国語指導助手を招致する事業である。 【外国語活動】 ○こども館 ・絵本読み聞かせ ・コミュニケーション ○小学校 ・ウェルカム教室(国際理解) ・コミュニケーション英語 ○中学校 ・外国語授業 【英会話教室】 ・金曜日　11：00～12：00	○外国語指導助手は２名体制で、令和３年度より外国指導助手１名を中学校に常駐させている。 ○町民センターまつりの中で、ハワイの音楽やフラダンス等ハワイの文化を紹介した。 ○小学校5･6年生の英語授業70時間、3・4年生の外国語活動35時間、1・2年生の外国語活動20時間を実施した。	○外国語指導助手は２名体制で、令和３年度より外国指導助手１名を中学校に常駐させている。 ○小学校5･6年生の英語授業70時間、3・4年生の外国語活動35時間、1・2年生の外国語活動20時間を実施した。 ○隔週金曜日に英会話教室を実施し、町民と交流を深めた。
教職員健康診断事業（人間ドック）	学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。 【受診者数】 **＜令和４年度＞** ・54歳以下ドック受診者 小学校　３名 中学校　３名 **＜令和５年度＞** ・54歳以下ドック受診者 小学校　３名 中学校　３名	○教職員の健康の保持増進に資する事業であり疾病の予防・早期発見に寄与した。 ●公立学校共済としての枠があるため、人間ドックを希望しても必ず決定されるとは限らないが、今年度は予算以上の７名が受けることができた。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、今後も教職員の健康の保持増進に努める。	○教職員の健康の保持増進に資する事業であり疾病の予防・早期発見に寄与した。 ○公立学校共済としての枠があるため、人間ドックを希望しても必ず決定されるとは限らないが、今年度は５５歳以上も含め８名が受けることができた。 ●受診忘れなどがあったため、次年度は受診が完了したかどうかの呼びかけを行う。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、今後も教職員の健康の保持増進に努める。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向
学校体育連盟運営事業	町内中学校生徒の身体並びにスポーツ技術の向上、管内中学生との交流と親睦を図ることを目的として、中頓別町学校体育連盟に補助金を交付する事業である。 【補助金】 **＜令和４年度＞** ・補助金　323,000 円 **＜令和５年度＞** ・補助金　323,000 円	○スポーツを通して身体並びに、技能の向上が図られた。また、陸上競技１名、卓球競技２名、スキー競技１名が全道大会に出場することができた。 ●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られてきている。 ◇生徒の体力やスポーツ技術の向上に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。	○スポーツを通して身体並びに、技能の向上が図られた。また、スキー競技２名、剣道競技２名が全道大会に、卓球競技１名が北海道選手権大会に出場することができた。 ●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られてきている。 ◇生徒の体力やスポーツ技術の向上に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。
中頓別町教育研究会運営事業	中頓別町学校教育の重点及び町内各学校の学校教育目標・経営計画に則り、各校教育課程の改善、充実を図るため、町教育研究会に補助する事業である。 【補助金】 **＜平成４年度＞** ・補助金　262,000 円 【令和４年度活動状況】 ・小中連携委員会の開催 ・小中交流授業公開 **＜令和５年度＞** ・補助金　262,000 円 【令和５年度活動状況】 ・小中連携委員会の開催 ・管内教育研究大会 ・小中交流授業公開	○昨年度と同様「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育を創造する」を研究主題として、本町の地域性を踏まえた教育活動の研究により学校教育の充実に繋がった。 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン開催や規模を縮小した形でサークル活動や研究大会等の活動を実施した。中頓別町・浜頓別町・猿払村教育研究大会では、会場校として、授業公開・協議の運営にあたった。小中連携の推進については活動の主体を町研から切り離し、小中連携委員会を各校の分掌に位置付け、企画・運営は各校の担当が連携しながら決定していく進め方を取った。 ●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、合同実技研修の開催は見合わせた。小中連携に関して、町研と切り離して小中連携委員会それぞれの部会が主体となっての活動は上手くいかなかった部分があった。 ◇小中連携活動に加えて、合同でのカリキュラムや生徒指導のルール作り、一貫校となった際の実務的な調整を行っていく。	○昨年度と同様「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育を創造する」を研究主題として、本町の地域性を踏まえた教育活動の研究により学校教育の充実に繋がった。 ○一斉活動日を設定して、年４回のサークル活動を実施した。中頓別町・浜頓別町教育研究大会では、会場校として、授業公開・協議の運営にあたった。２町のみならず、３町村からも参加者がおり、小中あわせて約７０名の参加があった。小中連携の推進については、小中の研修連携を重点とし、外部講師の招聘による積極的な研修・授業改革を町研がサポートし、教職員の学ぶ機会を保障することができた。 ◇小中連携の推進については、次年度も小中の接続を意識した研修連携を行っていく。「中頓別学園」の設立に向け、小中連携委員会を「学校づくり委員会」とし、学校づくり推進室と連携を取り、こども園・小学校・中学校の職員で活動を行っていく。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向
道内教育委員会協議会補助事業	北海道教育委員会連絡協議会及び宗谷管内教育委員会連絡協議会があり、負担金は管内教連に執行している。 目的は、各市町村教育委員会相互の連絡連携を図り教育振興と充実を図る。 【補助金】 **＜令和４年度＞** ・補助金　　０円 **＜令和５年度＞** ・補助金　　０円	○前年度まで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となっていた、宗谷管内教育委員研修会にオンラインにて参加。 ◇研修会に参加することで教育委員としての資質向上に繋がり、また、管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。	○宗谷管内教育委員研修会にオンラインにて参加。部活動の地域移行に関する今日的課題についての講演を聞き、知見を深めることができた。 ◇研修会に参加することで教育委員としての資質向上に繋がり、また、管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。
中頓別町特別支援教育連携協議会運営事業	発達障害を含めた障害のある子どものよりよい生活を築くため、関係機関が横断的に連携し、就学前から就学後及び卒業後の就労を含めた継続的、総合的な支援体制のあり方等を検討することを目的に補助金を交付する事業である。 【令和４年度活動状況】 ○連携協議会総会の開催（書面開催） ・年１回 ○連携協議会役員会の開催（書面・Zoom 開催） ・年３回 ○情報交換会 ○講演会（Zoom 開催） ○特別支援コーディネーター・特別支援担当者におけるこども園・小学校視察 【令和５年度活動状況】 ○連携協議会総会の開催（書面開催） ・年１回 ○連携協議会役員会の開催 ・年２回 ○情報交換会 ○講演会（Zoom 開催） ○特別支援コーディネーター・特別支援担当者によるこども園・小学校・中学校視察 **＜令和４年度＞** ・補助金　140,000 円 **＜令和５年度＞** ・補助金　140,000 円	○情報交換会の開催 ・各関係機関から現状と今後の課題等について報告と交流を実施した。 ◇町としての障がい者福祉の在り方について、検討していく必要がある。	○情報交換会の開催 ○各関係機関から現状と今後の課題等について報告と交流を実施した。 ○中頓別町ＰＴＡ連合会と宗谷管内ＰＴＡ連合会の共催で、株式会社チャックスファミリーＣＳ推進マネージャーの高坂麻紀氏を講師に「自発的で積極的な子どもを育てるには　～輝くキャストに成長する仕組み～」というテーマで講演会が行われた。こども園・小・中学校の教職員・保護者を中心に 40 名ほどが参加した。 ○学校・こども園視察では、小・中学校の特別支援コーディネーターを中心に視察が行われ、情報交換会で共有した子どもの実態の把握と教育支援会議に向けた情報共有が行われた。 ○特支援助費から、発達検査テスト用紙を購入した。 ◇町としての障がい者福祉の在り方について、検討していく必要がある。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向
中頓別学園整備事業	中頓別中学校が抱える施設の老朽化の問題を解決しつつ、こども園・小学校・中学校が連携した学校づくりを推進するため、小中学校の校舎を新築・改修により集約し義務教育学校を設置する。さらに地域と協働する全世代型の学びの拠点づくりを目指す。 **＜令和４年度＞** ・中頓別学園設置協議会　５回 ・親子参加型ワークショップ ・設計プロポーザル ・町民ヒアリング ・活動ワークショップ **＜令和5年度＞** ・全体協議会　６回 ・中頓別学園プロジェクトチーム ・中頓別学園推進企画会議 ・自分とみんなで創る新しい学校『中頓別学園』もうすぐスタートライブ ・教職員ワークショップ ・模型の旅 ・「みてよくわかる！まちの人とともにつくる人生100年学びの拠点・中頓別学園」パンフレット、アンケート配布 ・愛知県東浦町緒川小学校視察 ・安平町早来学園視察 ・根室市立花咲港小学校・花咲小学校視察 ・福島県大熊町「学び舎ゆめの森」視察	○文科省の「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」に全国２か所のうち中頓別町が採択され、中頓別学園設置協議会を設立し、義務教育学校設置の基本計画等の作成・設計プロセスの整理を行うことができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していたとおりのワークショップの開催はできなかったものの、教職員ワークショップを１回実施し、教職員と情報を共有することができた。 ◇令和５年度に補助金申請・基本設計及び実施設計の検討が入るため、内容を精査していく。また、学校教育課程や施設の使い方・建設中の小学校引っ越し等精査していく必要がある。	○将来の地域と協働した運営組織づくりを視野にいれながら、学びの場で実施する事業等について協議するため中頓別学園全体協議会を設立し、６回協議を実施した。 ○園・小・中・推進室でそれぞれの部門に分かれて中頓別学園プロジェクトチームを設立し、学園の運用・校歌・ICT等について協議し情報を共有することができた。 ○更に推進室・園・小・中で情報共有を図るため、中頓別学園推進企画会議を実施した。 ○園・小・中で児童生徒全員が１年後にスタートする仮校舎（中学校）での小・中一緒の学校生活をイメージしながら、文化芸術にふれ、未来を語り合える場として、地元宗谷（稚内市）出身の兄弟シンガーソングライターSE-NOさんの力をお借りし、「自分とみんなで創る新しい学校『中頓別学園』もうすぐスタートライブ」を開催することができた。 ◇令和６年度に補助金申請（交付金・負担金）・基本実施設計の検討が入るため、内容を精査していく。また、学校教育課程や施設の使い方・建設中の小学校引っ越し等精査していく必要がある。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向
教職員住宅管理事業	教職員等の住宅の確保及び維持管理を実施し、居住環境の保持と改善を図る。 **＜令和４年度＞** ・小破壊修繕等　７件 ・教職員住宅修繕　１件 （中学校） **＜令和5年度＞** ・小破壊修繕等　７件	○緊急を要する修理修繕については迅速に対応し、居住環境の保持と改善に努めた。 ●住宅の老朽化により損傷が進まないよう適時、修繕を行えるよう状態の把握に努める必要がある。 ◇教職員住宅の年次計画に沿って整備に努めていく。	○緊急を要する修理修繕については迅速に対応し、居住環境の保持と改善に努めた。 ●住宅の老朽化により損傷が進まないよう適時、修繕を行えるよう状態の把握に努める必要がある。 ◇教職員住宅の年次計画に沿って整備に努めていく。
小学校施設維持管理事業	安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。 **＜令和４年度＞** ・児童用机　７０台 ・児童用椅子　７０脚 ・児童用デスクマット７０枚 等 **＜令和５年度＞** ・配膳台　１台 ・アクティブトレイ　１台 ・掃除機（体育館用・西階段用）　各１台 等	○安全安心な教育環境に必要な維持修繕と物品等の調達ができた。 ○学校校舎の老朽化に伴い、外壁補修工事、トイレ様式化工事、体育館暖房機取替え工事を実施した。 ◇校舎本体や設備において大規模改修が必要になってきている。中学校校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。	○安全安心な教育環境に必要な維持修繕と物品等の調達ができた。 ○産業課による天板交換プロジェクトの実施に伴い、机・椅子の入れ替えを行った。 ○学校校舎の老朽化に伴い、2階女子トイレ修繕、体育館バスケットゴールリモコン交換・バスケットゴール装置修繕、体育館遠赤外線修繕、消火器７本交換を実施した。 ◇天板交換プロジェクトに伴い、今後は毎年度末に産業課と連携して事業の継続を行っていく。 ◇校舎本体や設備において大規模改修が必要になってきている。中学校校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。
中学校施設維持管理事業	安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。 **＜令和４年度＞** ・レーザープリンター　１台 ・カラープリンター　１台 ・スポットライト　１台 等 **＜令和５年度＞** ・シュレッダー　１台 ・ポータブル電源　１台 等	●校舎については老朽化と防寒対策のため根本的な解決が必要となっている。 ◇校舎の耐震性は国土交通省基準でクリアされているため問題ないとの見解から、今後は当面校舎の防寒対策をしつつ、校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。	○学校校舎の老朽化に伴い、1階女子トイレ手洗い場蛍光灯 LED 交換、水道量水器取り換え、音楽室網戸修繕、保健室引戸錠取り換えを実施した。 ●校舎については老朽化と防寒対策のため根本的な解決が必要となっている。 ◇校舎の耐震性は国土交通省基準でクリアされているため問題ないとの見解から、今後は当面校舎の防寒対策をしつつ、校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向
小学校教育振興事業	教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。 **＜令和４年度＞** ・陸上ハードル　10本 ・モルテンデジタルピストル　1台 ・双眼実体顕微鏡　2台 等 **＜令和5年度＞** ・バスマスター　1台 ・ガスコンロ　7台 ・フラッシュ EPF　1個	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の整備と充実を図る。	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の整備と充実を図る。
中学校教育振興事業	教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。 **＜令和４年度＞** ・スライドマルノコ　1台 **＜令和５年度＞** ・家庭科用ミシン　5台 ・ベルトディスクサンダー　1台 ・充電式インパクトドライバー　1台 等	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。
児童生徒健康診断委託事業	児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。 【小学生】　R4　R5 内科検診（全学年）　68名　57名 結核検診（全学年）　68名　57名 心臓検診（小１年）　11名　11名 心臓検診（小４年）　7名　5名 歯科検診（全学年）　68名　57名 尿検査　（全学年）　68名　57名 【中学生】 内科検診（全学年）　24名　28名 結核検診（全学年）　24名　28名 心臓検診（中１年）　6名　16名 尿検査　（全学年）　24名　24名	○児童生徒に係る健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられており、健康診断の実施により、疾病の予防や早期発見に寄与した。町内で新型コロナ感染症が拡大した時期は一時休止したものの、各学校でフッ化物洗口を実施することができた。 ○生活習慣病の低年齢化が危惧されていることから、こどもの身体への関心を高め、生活を振り返ることを目的として、小児生活習慣病予防検診を実施した。 ○保健師による小学校児童向けの生活予防習慣病健診についての事前説明を実施した。	○児童生徒に係る健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられており、健康診断の実施により、疾病の予防や早期発見に寄与した。各学校でフッ化物洗口を実施することができた。 ○生活習慣病の低年齢化が危惧されていることから、こどもの身体への関心を高め、生活を振り返ることを目的として、小児生活習慣病予防検診を実施した。保健師による小学校児童向けの生活予防習慣病健診についての事前説明を実施した。 ◇学校保健担当者会議において小中学校から挙がった要望に対し、保健福祉課・病院と連携しながら、内容の改善を図った。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向
教職員健康診断委託事業	学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。 【受診者数】 R4　R5 ・小学校　13名　9名 ・中学校　9名　6名	○人間ドック受診者以外の教職員全員が検診を受診することができた。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、教職員の健康の保持増進のためにも継続していく。	○人間ドック受診者以外の辞退者を除く教職員全員が検診を受診することができた。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、教職員の健康の保持増進のためにも継続していく。
へき地児童生徒巡回検診事業	児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。 【検診内容】 **＜令和４年度＞** ・脊柱側わん症検診（毎年実施） **＜令和５年度＞** ・脊柱側わん症検診（毎年実施） ・眼科検診	◇他町との連携を図りながら事務局を担う町村と協力していく。 ◇専門医の確保が困難なへき地であるため、３年に１度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していくが、隔年実施に向けて他町との協議を進めていく。 ※今後の予定 ・令和５年度　脊柱側わん症検診・眼科検診	○眼科検診の事務局を務め、適切に事業を終えることができた。脊柱側わん症検診については受診対象者なし。 ◇次年度の耳鼻科検診においては、事務局として各町と連携して事業を進める。 ◇専門医の確保が困難なへき地であるため、３年に１度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していく。 ※今後の予定 ・令和６年度　脊柱側わん症検診・耳鼻科検診
就学児健康診断委託事業	就学予定者の状況を把握し、保健上必要な助言や適正な就学についての指導等を行うため、健康診断を行う事業である。 【検診内容】 ・内科検診 ・歯科検診 【受診者数】 R4　R5 ・受診者　12名　13名	○学校保健安全法に基づく健康診断であり、内科検診と歯科検診を実施した。 ◇就学予定者の心身の健康状態を把握することで個々に応じた適正な就学が図れるため、今後も継続していく。	○学校保健安全法に基づく健康診断であり、内科検診と歯科検診を実施した。 ◇就学予定者の心身の健康状態を把握することで個々に応じた適正な就学が図れるため、今後も継続していく。 ◇保健福祉課と連携し、町外の歯科医師による歯科検診を実施した。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向
就学奨励事業	経済的な理由等によって就学が困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施に資することを目的とし、必要な援助を行う事業である。 【対象者数】 R4　R5 ・新規者　1名　1名 ・継続者　9名　9名	○新規者１名、継続者９名が就学援助制度を利用された。低所得者世帯の経済的負担を軽減することができた。 ○申請書類の提出時に不備が多かった点について、内容を更新したことで不備が減少した。 ◇低所得世帯者の経済的負担を軽減するためにも、この制度を利用していただけるよう、引き続きわかりやすい内容で周知徹底をしていく。	○新規者１名、継続者９名が就学援助制度を利用された。低所得者世帯の経済的負担を軽減することができた。 ◇低所得世帯者の経済的負担を軽減するためにも、この制度を利用していただけるよう、引き続きわかりやすい内容で周知徹底をしていく。
表彰及び儀式典礼に関する事務事業	公立学校職員、教育行政職員として学校教育の振興に貢献し、特に功績が顕著であると認められた者が対象となる。 【高齢者叙勲】 ・舘村　章氏	○死亡叙勲が１件あり、迅速に事務処理を行い、遅延なく対応することができた。 ◇死亡叙勲については遅延が許されないことから、差しさわりのない範囲で、受賞希望者の把握と申請に必要な事前準備に心がける。	○高齢者が１件あり、迅速に事務処理を行い、遅延なく対応することができた。 ◇死亡叙勲については遅延が許されないことから、差しさわりのない範囲で、受賞希望者の把握と申請に必要な事前準備に心がける。 高齢者叙勲について、各年度ごとに該当者を調べ、該当者がいれば早めに住所・生存確認等を行う必要がある。
学校給食事業	給食は、児童・生徒に望ましい食事に関する経験をかさねさせ、心身の健全な発達に寄与することを目的に、児童・生徒に給食を一日一回提供する。	○米飯給食を基本とし、郷土料理や行事食、7・12月にはリザーブ給食を実施し、新メニューの提供に努めるとともに、栄養価の向上や特色ある給食づくりに取り組んだ。 ●学校給食センターの老朽化に伴う施設改修が必要となってきている。 ○新型コロナウイルス感染症の影響による家計への配慮及び安心して子育てができる環境整備に向け、学校給食費の保護者負担をなくし、全額補助とした。	○米飯給食を基本とし、郷土料理や行事食、7・12月にはリザーブ給食を実施し、新メニューの提供に努めるとともに、栄養価の向上や特色ある給食づくりに取り組んだ。 ●学校給食センターの老朽化に伴う施設改修が必要となってきている。 ○家計への配慮及び安心して子育てができる環境整備に向け、学校給食費の保護者負担をなくし、全額補助とした。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向
全国学力学習状況調査事務事業	全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として調査を実施する。 【調査対象者】 R4　R5 小学校６年生　15人　13人 中学校３年生　９人　５人	○児童生徒の学力及び生活習慣との関連性も把握ができ、今後の学習指導に役立てることができた。小学校の国語・理科では全国平均以上の学力水準がみられた。中学校の理科では全国平均以上の学力水準がみられた。 ●児童生徒数が少ないと平均値もその年ごとに大きな幅や波がみられ継続的なデータとしては分析しづらい面もある。データの分析によりどんな設問に躓いているか洗い出し、児童生徒一人ひとりの学力の底上げを目指していく。 ◇平均正答率を上げることだけに意識を向けるのではなく、社会で自立するために必要な学力を確実に身に着けさせる取組みを、学校、家庭、地域が一体となって進める必要がある。	○児童生徒の学力及び生活習慣との関連性も把握ができ、今後の学習指導に役立てることができた。小学校は国語・算数ともに全国平均以上の学力水準がみられた。中学校の数学では全国平均以上の学力水準がみられた。 ●担任・教科担当のみの課題としない授業改善と支援策を構築する必要がある。 ●児童生徒数が少ないと平均値もその年ごとに大きな幅や波がみられ継続的なデータとしては分析しづらい面もある。データの分析によりどんな設問に躓いているか洗い出し、児童生徒一人ひとりの学力の底上げを目指していく。 ◇平均正答率を上げることだけに意識を向けるのではなく、社会で自立するために必要な学力を確実に身に着けさせる取組みを、学校、家庭、地域が一体となって進める必要がある。
規則規程等に関する事務事業	規定に基づき教育委員会条例及び規則の改廃、告示及びその他の規程を定め、公表する。 【条例規則等改正】 R4　R5 ・条例　０本　０本 ・規則　２本　１本 ・規程　０本　０本 ・要綱　０本　２本 ・要領　０本　０本	○教育行政に支障を来たさない様、教育に関連する法律等の改正等に伴う事務処理を遅滞なく処理した。 ●教育局との連携を図りながら、事務処理を進めていくことが必要である。 ◇今後も遅滞なく改正等の事務処理を行うとともに、随時見直しも行うようにする。	○教育行政に支障を来たさない様、教育に関連する事務処理を遅滞なく処理した。 ◇今後も遅滞なく改正等の事務処理を行うとともに、随時見直しも行うようにする。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向
就学支援委員会事務事業	心身に障害のある児童生徒等の就学の適正を図るため、就学指導委員会を開催し、教育長の指定する事項について審議を行うものである。	○支援が必要な児童生徒の適切な就学に向けて審議を行った。 ◇今後においても、保護者の意向を最大限尊重し、一人一人にあった支援の在り方を関係者と共有していく。	○支援が必要な児童生徒の適切な就学に向けて審議を行った。 ○教育支援委員会に限らず、認定こども園が主体となった子ども支援ネットワーク会議においても、認定こども園・小中学校・保健福祉課・教育委員会で情報共有を図り、より長期的な視点からきめ細やかで具体的な支援の内容について検討をすることができた。 ◇知能検査の検査レベルの見直しを図ったほか、新たに言語検査を行った。
中頓別町育英会事務事業	経済的事由により就学が困難な学生、生徒に対して学資を貸与する事業である。 **＜令和４年度＞** ・新規貸与者　４名 ・継続貸与者　０名 **＜令和５年度＞** ・新規貸与者　０名 ・継続貸与者　２名	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。 ４名に学資を新規貸与した。 ●滞納者については、数回にわたり償還状況の確認を行い返済計画について確認した。 新型コロナウイルス感染症の影響で収入減となった家庭もあり、返済が滞っている。 ◇今後も継続して、滞納者から償還計画を提出してもらい、確実に確約がとれるよう進めていく。	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。 ２名に学資を継続貸与した。 ●滞納者については、数回にわたり償還状況の確認を行い返済計画について確認した。 新型コロナウイルス感染症の影響で収入減となった家庭もあり、返済が滞っているが、返済する意思については確済みである。 ◇今後も継続して、滞納者から償還計画を提出してもらい、確実に確約がとれるよう進めていく。

（2）生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進

①社会教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
成人式運営事業	成人を迎える若人が郷土愛や仲間意識を高め、成人となることの意義を考え、社会人としての責務や役割を十分認識し、更なる飛躍を期待する。 【事業内容】 **＜令和4年度＞** ・成人式　1月8日（日） 該当者20名、出席者14名 ２０歳のオリジナル図書 父母への感謝の言葉 父母からのお祝いの言葉 小中学校恩師からのﾒｯｾｰｼﾞ・ビデオレター 放課後子どもプランからしおり・コースタープレゼント 記念ビデオ贈呈 **＜令和5年度＞** ・成人式　1月7日（日） 該当者17名、出席者14名 ２０歳のオリジナル図書 父母への感謝の言葉 父母からのお祝いの言葉 小中学校恩師からのﾒｯｾｰｼﾞ・ビデオレター 放課後子どもプランからしおり・コースター 記念公演「和太鼓団 雪峯」 記念ビデオ贈呈	○早期に新成人の人数を把握し、余裕をもって事務処理を行うことに努め、おおむね有意義なプログラムとして実施した。 父母から成人者へ、成人者ら父母への感謝の気持ちを手紙で伝えることができた。 記念品として、２０歳のオリジナル図書を選書し、新成人が好きな本を選んでもらうようにした。 放課後子どもプランで取り組んだメッセージ入りコースターを成人者のプレゼントとして送った。 後日新成人から児童への感謝の品物を用意し渡した。 ◇成人年齢が１８歳に引き下げられ、大学受験と式典が重なる時期になるため、今後も20歳に「20歳を祝う会」と名称を変更して、行っていく。	○父母から成人者へ、成人者ら父母への感謝の気持ちを手紙で伝えることができた。 記念品として、２０歳のオリジナル図書を選書し、新成人が好きな本を選んでもらうようにした。 放課後子どもプランで取り組んだメッセージ入りコースターを成人者のプレゼントとして送った。 後日新成人から児童への感謝の品物を用意し渡した。 和太鼓団「雪峯」による記念公演の実施。今年度から町民センターにて開催。 ●記念品について、後日の配布となってしまい、式の当日に渡せるよう取り組みが必要である。 ◇中頓別学園の建設に伴い、思い出となるイベントも考慮し開催する。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
少年教育自然体験委託事業	郷土の自然や文化に親しみながら、アウトドアの基本を身につけ、豊かな感性と自ら考える力を育むことを目的に、主に小中学生を対象に年間 10 日間の自然体験イベント「ピンネっこクラブ」を企画運営し、サポート業務を委託する（令和４年度より体制変更）。 **＜令和4年度＞** ・「行者ニンニク狩りにいこう！」 4 月 23 日　14 名参加 ・「焚き火のススメ」 5 月 22 日　17 名参加 ・「クッチャロ湖カヌー」 6 月 18 日　12 名参加 ・「サマーキャンプ2022」 7 月 28 日-29 日　25 名参加 ・「砂金アクセサリーをつくろう」 8 月 20 日　9 名参加 ・「ピンネシリ岳紅葉登山」 10 月 22 日　8 名参加 ・「雪遊び」 1 月 22 日　4 名参加 ・「冬の雪上運動会」 2 月２５日　7 名参加 **＜令和5年度＞** ・「BBQ パーティ！」 5 月 28 日　22 名参加 ・「サマーキャンプ 2023」 7 月 26 日-28 日　33 名参加 ・「美深でキャンプ！松山湿原トレッキング」 9 月 23 日-24 日　9 名参加 ・「クリスマススワッグをつくろう！」 12 月 10 日　11 名参加	○事業の担当者が教育委員会に移籍したことに伴い、教育委員会が主催し、委託事業者にサポート業務を依頼する体制となった。 ○新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ内容を変更した回もあったものの、おおむね計画どおり宿泊キャンプ１回を含む年間１０日間の事業を実施し、中頓別町の自然に親しんでもらうことができた。 ○年に２回、中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業「子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室」として、北海道教育大学旭川校の学生を夏期に２名、２月に３名を派遣していただいた。また、希望者のみの参加に切り替え、リスクマネジメントの向上を図った。 ●令和６年度に予定しているそうや自然学校の移管に伴い、事業内容や予算編成について整理を行っていく必要がある。 ◇参加者から宿泊キャンプを増やしてほしいという声がたびたびあったため、宿泊の回数を増やすことを検討する。	○事業の担当者が教育委員会に移籍したことに伴い、教育委員会が主催し、委託事業者にサポート業務を依頼する体制となった。 ○新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ内容を変更した回もあったものの、おおむね計画どおり宿泊キャンプ１回を含む年間１０日間の事業を実施し、中頓別町の自然に親しんでもらうことができた。 ○年に２回、中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業「子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室」として、北海道教育大学旭川校の学生を夏期に２名、２月に２名を派遣していただき、さらに、こどもプランでの音楽交流を実施している。 ●令和６年度に予定しているそうや自然学校の移管に伴い、事業内容や予算編成について整理を行っていく必要がある。 ◇担当職員のスキルアップを図り、より楽しく、より安全に体験活動を取り組む体制の構築を図る。

	・「ウィンターキャンプ 2024」 1月10日-11日　22名参加 ・「ピンネシリの森早春トレッキング」 3月9日　20名参加		
高齢者いきいき教室運営事業	これまで学校形式「寿大学」から講座形式に工夫。 高齢者が時代に沿った社会的能力を高めるため、健康増進、教養の向上、交流など生きがいのある充実した生活を創造していくための計画的な学習の機会を提供し、自ら活動するサークル活動を支援していく。 **＜令和４年度＞** ・各種サークル活動 **＜令和５年度＞** ・各種サークル活動 ・町民センター避難訓練 ・文化塾への参加 ・リフレッシュ研修旅行	○パソコンサークルは定着し、少人数ながら継続して実施ができた。 ○中頓別文化塾などの講演会に参加してもらった。 ●高齢者いきいき教室単体の日程調整が新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、教室等を満足に開催することができなかった。	○パソコンサークルは定着し、少人数ながら継続して実施ができた。 ○中頓別文化塾などの講演会に参加してもらった。 ○コロナ感染症で開催できなかったリフレッシュ研修旅行の開催（層雲峡方面、８名の参） 引率：職員２名 ●リフレッシュ研修旅行の継続と社会教育事業への積極的参加を促す取り組みが必要。
社会教育委員会運営事業	社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するための職務を行う。 【事業内容】 **＜令和4年度＞** ・社会教育委員会議 第1回　5月 9日 第2回　9月 13日 第3回　12月 19日 第4回　3月 23日 ・文化スポーツ表彰選考委員会 12月 19日(1名) **＜令和５年度＞** ・社会教育委員会議 第1回　4月 24日 第2回　10月 24日 第3回　12月 19日 第4回　3月 26日	○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。 年間活動を総括する会議を開催することができた。 ●管内道内の社会教育委員研修会に参加する方が、仕事を理由に少なくなっている。 ◇委員が宗谷管内協議会、北海道ブロック大会への参加ができるよう、早めに周知を行う。また、教育委員会行事にも参加してもらえるよう働きかける。	○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。 年間活動を総括する会議を開催することができた。 ●管内道内の社会教育委員研修会に参加する方が、仕事を理由に少なくなっている。 ◇各委員の研修会等への参加が可能な体制づくりが必要。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
各種研修派遣事業	団体やサークルが自主的に活躍するため、各種研修会や会議に派遣し団体やサークルの指導者を養成し、継続的な活動を推進する。また、自主的な生涯学習活動やまちづくり活動を図れるよう個人指導者や団体やサークルの育成を推進する。 **＜令和4年度＞** なし **＜令和5年度＞** なし	●継続的に中学生のリーダー養成事業への案内はしているが、派遣には至っていない。 ◇社会教育主事の関わり方を自主的に動けるように工夫して指導者としての役割を高める必要がある。また、普段の活動から自主的に動けるよう団体やサークルに働きかける。	●継続的に各種リーダー養成事業への案内はしているが、派遣には至っていない。 ◇社会教育主事等の研修会へ積極的に参加しスキルアップ、情報収集、近隣市町村との連携をはかることが必要である。
車両維持管理事業	社会教育事業推進のため使用する車両の維持管理を行う。	○社会教育領域及び学校教育において有効に活用されてきた。 ◇スポーツ巡回バスやワゴンの更新を検討しつつ、車両が故障した際には早急に修理する。 ◇文化・スポーツ振興のため、各団体、サークルでの有効活用に支障をきたさないよう、適切な維持管理に努める。	○社会教育領域及び学校教育において有効に活用されてきた。 ◇スポーツ巡回バスやワゴンの更新を検討しつつ、車両が故障した際には早急に修理する。 ◇文化・スポーツ振興のため、各団体、サークルでの有効活用に支障をきたさないよう、適切な維持管理に努める。
管内生涯教育推進協議会運営負担事業	管内の生涯学習推進関係者や社会教育関係者等がその実践や研究協議を開催し、管内の生涯学習情報の収集と生涯学習関係者の資質の向上を図る。	○管内の生涯学習状況の把握と連携を図るため、社会教育主事会や北海道生涯学習センターの研修会へ当該職員の派遣をオンラインではあったが積極的に行った。継続して積極的に参加派遣を図る。 ◇継続して積極的に各種会議・研修会への参加派遣を図るとともに、近隣市町村との密な関係を構築し連携する。	○管内の生涯学習状況の把握と連携を図るため、社会教育主事会や宗谷教育局社会教育指導班と連携し、オンラインでの研修会を開催した。 ◇継続して積極的に各種会議・研修会への参加派遣を図るとともに、近隣市町村との密な関係を構築し連携する。
多目的集会施設維持管理事業	小頓別地区住民のコミュニティー活動の場として活用され、施設の維持管理を地域自治会に委託している。 **＜令和4年度＞** 委託料　120,000 円 **＜令和5年度＞** 委託料　120,000 円 別紙「利用状況」を参照	○集落支援員の協力を得て、地域コミュニティ活動の拠点として維持管理を有効に行えている。 ◇引き続き他の施設の設備更新に合わせて設備の更新や窓ガラスの修繕を計画的に進める。	○在所する集落支援員が退職され、施設の細かな清掃や破損など対応が困難となっている。 ◇施設管理を委託している自治会や地域住民の協力を得ながら清掃管理を進め、計画的な施設整備を図ることが必要である。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
夢と希望を！感動体験事業	平成28年度から、次代を担うこども達の健やかな成長と教育の向上に資することを目的に、未来を担うこどもの健全育成と教育の基金を財源に、学校単位や、子ども育成会、分団活動、スポーツ少年団活動等において取り組む各種体験活動に補助金を支出する。 **＜令和4年度＞** ・中学校本物感動体験！修学旅行事業　300千円 ・スキーの魅力満喫体験ツアー　250千円 **＜令和5年度＞** ・中学校本物感動体験！修学旅行事業　347千円 ・スキーの魅力満喫体験ツアー　148千円	○文化（芸術）鑑賞など各分野における体験活動へおおむね支援することができた。 ●今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりプロスポーツ観戦ツアーを開催することができなかったため、次年度は新球場になる野球の観戦を行いたい。 ◇プロスポーツ観戦においては、町内の関係団体・協会等で１事業として実施ができる仕組みを検討する。 ◇スキーツアーの場所に関しては、近年名寄ピヤシリスキー場が続いているため、他の候補地がないか検討を進める。	○プロ野球観戦ツアーを開催し小中高生１２名の参加があり、エスコンフィールドへ日本ハムファイターズの応援観戦を行った。 プロバスケット観戦については中高生１７名での観戦ツアーを予定していたが、吹雪による交通障害により、観戦することができなかった。 ●観戦する時期や内容を検討する。年間に２事業の実施（バスケ、サッカー、野球） ◇スキーツアーの場所に関しては、近年名寄ピヤシリスキー場が続いているが、関係団体と協議し、場所等について検討する。
町民センター運営維持管理事業	地域住民のコミュニティ活動の拠点として施設の維持管理運営を行い、地域活動や生涯学習・まちづくり活動、各種団体サークル等の活動支援を図る。 別紙「利用状況」を参照	○常勤体制で管理人を配置することができた。 ●施設の老朽化が進み、雨漏りや壁面の欠落などがある。使えないトイレが増えてきており、その修繕をしていかなければならない。 ●施設の老朽化により高齢者にとって使いにくくなっている。 ◇常勤体制の管理人が１名のため、急務などがあれば、職員が対応しなければならないことがあるため、管理人と密に連携を図る。	○施設の老朽化が進み、地域住民の活動の拠点としては使用しにくくなっているが、小破修繕等対応している。 ●中頓別学園と町民センターの複合施設が完成するまでの応急的修繕整備で対応する。 ◇常勤体制の管理人が１名のため、急務などがあれば、職員が対応しなければならないことがあるため、管理人と密に連携を図る。

施策項目	取り組み概要	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和5年度 ○成果●課題◇今後の方向性
郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業	本町開拓の歴史的経過と先人の事業を知り後世に伝えるため、郷土に関する資料の保存と展示をしている。 健康で文化的生活を築くために柔剣道場及び図書室、研修室を活用し、青少年の健全育成を図る。 ○柔剣道場利用団体 剣道少年団、柔道少年団 ○研修室利用団体 絵手紙サークル等 別紙「利用状況」を参照	○図書室の運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の選書や図書まつり、本の読み聞かせなど活用促進のための活動を実施した。 ●専門的な職員がおらず、郷土資料館の展示品を上手く生かすことができていないため、専門的な職員の配置が必要である。図書室も同様で意図的な購入図書の選定や事業展開ができていないため、専門的な職員が配置できるように調整していく。 ◇施設入館料を徴収しているが、近隣市町村と比べると展示品等の数や種類から無料化を検討すべきである。また、資料館の展示の仕方を考えていきたい。	○図書室の運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の選書や図書まつり、本の読み聞かせなど活用促進のための活動を実施した。 ●しばらく展示内容も変更していないため、学芸員による専門的見地から展示方法について検討する必要がある。 ◇資料館の展示について、専門家の意見をいただきながら、今後の展示の仕方について検討する。
なかとんべつ子ども読書プラン事業	子どもがたくさんの本と出合う機会を保障し、そのために必要な環境を計画的に整備することを目的に平成２２年に「中頓別町子ども読書プラン」を策定し、絵本の読み聞かせなどの活動を推進している。 【事業内容】 **＜令和4年度＞** ・推進会議 ・ブックスタート、読み聞かせ 5月12日、5月19日、6月23日、7月7日、8月18日、9月15日、11月17日、12月15日、1月19日、2月16日、3月17日 **＜令和５年度＞** ・推進会議 ・ブックスタート 5/18 8/17 11/16 2/15 読み聞かせ 6/20 7/7 10/11 12/11 1/29 3/27	○図書ボランティアの活動も積極的であり、読み聞かせでは、さまざまな工夫を凝らし、本に親しみやすい環境づくり自主的な取り組みとなっている。 さらには、昨年度より回数も多く、青少年柔剣道場内和室を利用して読書推進を図ることができた。 ◇引き続き読書ボランティアの活動を支援しながらこの事業を進めていきたい。また、令和５年度から代表が変わるため、新代表とともに様々な企画のアイデアを出していきたい。	○図書ボランティアの人数が減少してきているが、読書活動は積極的に活動され、様々な工夫を凝らして、読み聞かせ活動や図書の整理など取り組みを行っている。 ◇引き続き読書ボランティアの活動を支援しながら、ブックスタートや図書室及び学校図書室の推進を図る。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
多目的集会施設維持管理事業	小頓別地区住民のコミュニティー活動の場として活用され、施設の維持管理を地域自治会に委託している。 **＜令和4年度＞** 委託料　120,000 円 **＜令和5年度＞** 委託料　120,000 円 別紙「利用状況」を参照	○集落支援員の協力を得て、地域コミュニティ活動の拠点として維持管理を有効に行えている。 ◇引き続き他の施設の設備更新に合わせて設備の更新や窓ガラスの修繕を計画的に進める。	○在所する集落支援員が退職され、施設の細かな清掃や破損など対応が困難となっている。 ◇施設管理を委託している自治会や地域住民の協力を得ながら清掃管理を進め、計画的な施設整備を図ることが必要である。
創作活動施設運営管理事業	中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体サークルの創作活動の拠点として積極的な活用を図る 別紙「利用状況」を参照	○文化団体サークルのほか、交流会や親睦会などでの定期的に利用されている。 ○中頓別派出所の社屋建て替えのため創作活動施設を利用しており、子どもたちの見守りの強化ができている。 ◇利用状況に応じた施設の維持管理方法を改めて検討する。	○陶芸サークルの利活用 ○中頓別派出所の社屋建て替えのため創作活動施設を利用しており、子どもたちの見守りの強化ができている。 ●陶芸サークル、カヌー置き場としての活用のみで、今後、活用方法を検討する必要がある。 ◇利用状況に応じた施設の維持管理方法を改めて検討する。
英会話教室運営事業	ＡＬＴ（英語指導助手）による英会話教室を開催し、英会話力の向上及び異文化交流を深める。 毎週 金曜日　10：30～12：00 町民センター第１研修室 **＜令和4年度＞** 英会話教室登録者数５名 **＜令和5年度＞** 英会話教室登録者数４名	○ＡＬＴ（英語指導助手）と異文化交流ができる機会として、参加者が有意義となるような一般向けの教室の定期開催ができた。 学校授業での実施コマを増やしたほか、小学校低学年の授業や認定こども園での取り組みも継続して実施した。 ●令和２年度まで火曜日に行っていた英会話教室は、参加者がいないため中止とした。一般向け英会話教室を実施しているが、それを生かせる場がない。 ◇学校授業でのより一層の取り組みを進める。	○ＡＬＴ（英語指導助手）と異文化交流ができる機会として、参加者が有意義となるような一般向けの教室の定期開催ができた。 学校授業の外、認定こども園での取り組み、こどもプランでの英会話教室など、継続して実施した。 ●一般向け英会話教室を実施しているが、参加者数も増えず、それを生かせる場がない。 ◇学校授業やこども園、こどもプランのほか、多様な活動の場の提供を図っていく。

②社会体育の充実

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
社会体育推進事業	各スポーツ団体等の活動を支援し、スポーツ振興と活性化、健康づくりを図ることを目指す。 【事業内容】 ・スポーツ巡回車(26人乗り)の維持管理 ・スポーツ安全保険、レクレーション保険の手続き等 **<令和4年度>** ・卓球台　２台（NT-3125） **<令和5年度>** ・モルック　５組	○体育館備品など貸し出し用の用具を計画的に更新した。 スキー利用増の一端として各家庭で使用しなくなったスキー用品のリサイクルを継続実施した。 ●スキー用品のリサイクルを継続しているが、ボロボロになったものが多く、次の人へと引き渡す際に整備が必要となっている。またリサイクル品を振興公社と連携し進めていきたい。 ◇引き続き体育館備品など用具が老朽しているので、計画的な更新をする。また、スキー用品のリサイクルはある程度の基準を設けて、用品を整理していきたい。	○体育館備品など貸し出し用の用具を計画的に更新した。 ●スキー用品のリサイクルを継続していたが再利用できない用具が多く、次の人へと引き渡す際の整備や古いスキーの処分が必要となるため、取りやめとした。 ◇老朽化が著しい体育館であるが、修繕や備品などの計画的に整備を図る。
スポーツ推進委員会運営事業	スポーツの推進のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。 【事業内容】 スポーツ推進委員会の開催 **<令和4年度>** 第１回　４月２２日 第２回　６月１７日 第３回　１２月１６日 第４回　２月１４日 第５回　３月２３日 **<令和5年度>** 第１回　４月２０日 第２回　６月２７日 第３回　１２月　７日 第４回　２月１５日 第５回　３月２５日	○スポーツ推進委員会議での意見交換やアドバイスにより、町民のスポーツ活動の活性化に向け、積極的にスポーツの推進役として活動することができた。また、スポーツ推進委員に多くの行事にお手伝いいただき行事を成功することができた。 ◇町民の健康増進・維持に向けたさらなる取り組みを検討する。若手の委員を追加委嘱できるよう計画的な育成を行う。また、スポーツ推進委員に行事のお手伝いをしてもらえるように周知する。	○スポーツ推進委員会議での意見交換やアドバイスにより、町民のスポーツ活動の活性化に向け、積極的にスポーツの推進役として活動することができた。また、スポーツ推進委員に多くの行事にお手伝いいただき行事を成功することができた。 ○委員長の全国表彰に係る事務作業→40年勤続表彰 ◇町民の健康増進・維持に向けたさらなる取り組みを検討する。各年齢層の委員を追加委嘱できるよう計画的な育成を行う。また、スポーツ推進委員に事業の運営に積極的に参画できるよう配慮する。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
町民各種スポーツ大会等運営事業	各種スポーツ大会等を通して、本町のスポーツの推進を図り、町民の健康増進と体力向上を図る。 【事業内容】 **＜令和4年度＞** （主催） ・町長杯パークゴルフ大会 5月29日　21名 ・町民ソフトボール大会 6月26日　5チーム60名 ・プールフェスタ 8月7日　12名 ・第43回町民駅伝大会 9月4日（日）　全11チーム （後援） ・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日 （スポーツの日記念大会） ・町民バレーボール大会 ・教育長杯ゲートボール大会 ・町民バスケットボール大会 ・町民ミニバレー大会 ・町民卓球大会 中止 ・町民健康マラソン大会 10月10日　36名 **＜令和5年度＞** （主催） ・町長杯パークゴルフ大会 5月28日　18名 ・町民ソフトボール大会 6月25日　5チーム6名 ・プールフェスタ 8月20日　7名 ・第44回町民駅伝大会 9月3日（日）　全11チーム （後援） ・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日 （スポーツの日記念大会） ・町民健康マラソン大会 10月10日　42名	○各種スポーツ大会等の開催をとおして、町民の健康・体力づくり、交流を図ることができた。 また、スポーツの日記念スポーツ大会を関係競技団体と連携して開催をした。 ○各種スポーツ大会の参加者が少しづつではあるが、増加しているため、引き続き周知を強化していく。 ●新型コロナウイルス感染症の影響で行事を中止してしまったため、次年度以降はやれる方法を考える。 ◇さらに、各団体による大会開催に係る支援に向けた調整を進める。 また、今後の継続すべき事業と終了すべき事業を協議し、検討する。	○各種スポーツ大会等の開催をとおして、町民の健康・体力づくり、交流を図ることができた。 また、スポーツの日記念スポーツ大会を関係競技団体と連携して開催をした。 ○各種スポーツ大会の参加者については減少傾向にあるが、引き続き周知を強化していく。 ●新型コロナウイルス感染症の影響で行事を中止してしまった事業の再開について、以前のようなスポーツ活動に戻すには時間がかかる。 ◇さらに、各団体による大会開催に係る支援に向けた調整を進める。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
冬季スポーツ教室等運営事業	冬季スポーツを通して、運動不足の解消、健康増進と体力向上を図る。 【事業内容】 **＜令和4年度＞** ・一般スキー教室 1月21日、22日、29日 2月5日、6日 小学生14名　中学生3名 一般9名 ・ジュニアアルペン教室 1月14日、15日 ・歩くスキー教室 2月4日、11日、18日、25日 延6名 ・キッズスキー教室（未就学） 1月9日　2名 ・キッズスキー教室（こども園） 1月16日、18日、20日、23日 延12名 ・寿ジュニアスキー大会 2月5日 幼児2名　小学生30名 中学生3名　協力者41名 ・町民スノーフェスティバル 3月5日 スキー 幼児2名　小学生34名 中学生5名　一般9名 スノーボード 小学生8名　中学生2名 一般7名　協力者25名 **＜令和5年度＞** ・一般スキー教室 1月21日、22日、28日、29日 2月4日、5日 29名 ・ジュニアアルペン教室 1月14日、15日 10名 ・スノーボード教室 1月20日、21日　8名 ・歩くスキー教室 2月4日、11日、18日、25日 6名 ・キッズスキー教室（こども園） 1月16日、18日、20日、23日 延12名 ・寿ジュニアスキー大会 2月4日 幼児1名　小学生16名 中学生2名　名 ・町民スノーフェスティバル 3月3日 スキー 幼児2名　小学生25名 中学生3名　一般7名 スノーボード 小学生9名　中学生2名	○幼小連携を想定してキッズスキー教室の開催し、認定こども園の年長児全員がリフトに乗車して、山頂からの滑走することができるよう、マンツーマン指導ができるように調整した。 冬季スポーツの取り組みが継続できるよう指導者の確保は必須であるため、他町村の指導者にも声をかけられた。今年度も初心者向けのスノーボード教室を、用具の点検から、技術指導までの教室を開催していただいた。 ●平日に行う行事については指導者・支援員の確保が難しいため、シーズン始まる前から声をかけられるように準備していきたい。 ◇冬季スポーツの取り組みが継続できるようさらに指導者確保に取組む必要がある。 ＳＡＪバッジテストに受講料が必要なため、受講者の負担軽減を検討し、一人でも多くの方の技術向上を支援するための仕組みを早期に検討する。 冬季スポーツ推進委員には大会やフェスティバルで今後も手伝ってもらえるようお願いしていく。	○幼小連携を想定してキッズスキー教室の開催し、認定こども園の年長児全員がリフトに乗車して、山頂からの滑走することができるよう、マンツーマン指導ができるように調整した。 冬季スポーツの取り組みが継続できるよう指導者の確保は必須であるため、スキー協会や浜頓別町の指導員へも指導依頼を行い開催した。 ●スキー競技について教室や大会含めて参加減少傾向にある。また、スノーボードについては、若干ではあるが増加傾向にある。 ◇冬季スポーツの取り組みが継続できるようさらに指導者確保に取組む必要がある。 全般的に冬季スポーツの教室及び大会への参加者が減少傾向にあるため、潜在人口はあるため、講師を含めて参加できるよう事業等の見直し時期にある。

	一般５名 歩くスキー　　９名 ビニール滑り　約50名 的入れ　　約60名 宝探し　　約150名		
スポーツ少年団本部運営補助事業	町内のスポーツ少年団の円滑な運営を図るとともに団員のスポーツ技術の向上と青少年の健全育成、各団体相互の親睦を図る。 【事業内容】 **＜令和4年度＞** ・団員110名 剣道９名、柔道０名、 卓球17名、ﾌｯﾄｻﾙ20名、 スキー37名、ミニバス27名 ・結団式　５月２８日 ・卒団式　３月１４日 **＜令和５年度＞** ・団員110名 剣道９名、柔道０名、 卓球19名、ﾌｯﾄｻﾙ20名、 スキー35名、ミニバス27名 ・結団式　５月２７日 ・卒団式　３月１４日	○スポーツ少年団活動を通して、スポーツの楽しみや健康体力の向上、心身の健全育成を図るため、個人が複数の団体に所属し、年間を通じて様々な活動が行えるよう、各団体も含めサポートすることができた。 また、複数の少年団の団体への加入者が増えている。 ○昨年まで新型コロナウイルス感染症の影響で中止をしていた結団式、卒団式を今年度から行うことができた。 ●教育委員会が本来団体ですべき事務局をすべて担っており、団体の成長が著しく感じられない。 ◇各団指導者や保護者との連携を密にして、活動が盛り上がるよう支援していく。 ◇次年度は管内スポーツ少年大会が中頓別町で行われるため、少年団関係者に手伝ってもらえるよう周知する。	○スポーツ少年団活動を通して、スポーツの楽しみや健康体力の向上、心身の健全育成を図るため、個人が複数の団体に所属し、年間を通じて様々な活動が行えるよう、各団体も含めサポートすることができた。 また、少年団への加入人数は減少傾向にあるが、複数の少年団の団体への加入者が増えている。 ●中頓別町で開催予定であったスポーツ少年大会については、各市町村からの参加がなく中止とした。 ◇各団指導者や保護者との連携を密にして、活動が盛り上がるよう支援していく。
学校開放事業	学校体育館を開放し、町民のスポーツ活動を支援する。 主な利用団体 サッカー協会、バスケットボール協会、卓球協会、スポーツしない会、卓球少年団、フットサル少年団、ミニバスケットクラブ 別紙「利用状況」を参照	○町民がスポーツを取り組む場所の提供として、学校体育館の解放を推進し、団体サークルの効率的な利用がされている。 ●新型コロナウイルス感染症の影響により施設の閉鎖があった。 ◇引き続き学校体育館の積極的な利活用を図る。	○町民がスポーツを取り組む場所の提供として、学校体育館の解放を推進し、団体サークルの効率的な利用がされている。 ◇引き続き学校体育館の積極的な利活用を図る。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
各種スポーツ団体支援事業	各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が後援し、スポーツ振興に寄与する。 【事業内容】 **＜令和４年度＞** ・第14回中頓別町長杯争奪宗谷陸地町村ゲートボール大会中止 **＜令和5年度＞** ・第14回中頓別町長杯争奪宗谷陸地町村ゲートボール大会運営支援	○後援だけでなく、大会規模に応じて運営に人的支援の要望がある際には、積極的に行える体制を整えることができたが、大会が中止となった。	○後援事業だけでなく、大会規模に応じて運営に人的支援の要望がある際には、積極的に支援する体制を整え、宗谷陸地町村ゲートボール大会の運営支援を行った。 ◇各団体サークルからの要望に応じ、支援活動を実施し、団体サークルの活性化を図る。
社会体育施設運営事業	町民体育館は、町内で活躍しているスポーツ団体やサークル、愛好団体のスポーツ活動の拠点として提供している。また、学校の部活動としても活用され、多くの団体やサークルに利用されている。 別紙「利用状況」を参照	○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくり、町のスポーツの活性化に寄与している。 学校開放事業による使用団体が学校行事で使用できない場合に代替施設として使用してもらった。 ●施設の老朽化により、壁面の欠落や雨天時の雨漏りが多くなっている。 ◇引き続き個人や団体の利用者が利用しやすい環境になるよう工夫する必要がある。また、備品の入れ替え等も検討していく。	○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくり、町のスポーツの活性化に寄与している。 学校開放事業による使用団体が学校行事で使用できない場合に代替施設として使用している。 ●施設の老朽化により、壁面の欠落や雨天時の雨漏りが多くなっており、計画的な修理修繕が必要である。 ◇引き続き個人や団体の利用者が利用しやすい環境整備が必要がある。また、備品の入れ替え等も検討していく。
山村プール運営事業	学校授業や子どもから大人までの水泳技能や水中運動による健康体力づくり、子どもたちの活動の場となっている。 【事業内容】 ・山村プール内外の環境整備 ・施設の維持管理 ・水質管理と利用者への安全確保 ・夜間開放 別紙「利用状況」を参照	○親子水泳教室の開催継続を通して、水泳の楽しさと努力する態度が養われた。 ○夜間開放を実施しているが、ほとんど利用がないため、親子水泳教室を夜間開放の時間に入れるなど工夫した。 ○細谷建設に監視員が足りない日にお願いし、運営することができた。 ●施設の清掃員や監視員を集めるのが難しい状況になっている。 ◇監視員や清掃員の業務を細谷建設等に委託できるか検討する。	○親子水泳教室の開催継続を通して、水泳の楽しさと努力する態度が養われた。 ○夜間開放を実施しているが、ほとんど利用がないため、親子水泳教室を夜間開放の時間に入れるなど工夫した。 ●施設の清掃員や監視員を集めるのが難しい状況になっているため、細谷建設と委託業務を提携し監視業務を強化する。 ◇夜間開放について、利用しやすい日程で実施する。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
寿野外レクリエーション施設事業	町の社会教育施設の管理を平成１８年度から指定管理として中頓別振興公社に管理委託している。利用者の意見や意向、ニーズを把握しながら、有益で地域住民の憩いの場として、円滑・効率的な運営管理を図っている。 【指定管理施設】 **＜令和4年度＞** ・中頓別町寿スキー場 リフト輸送人員 12月7,530人 1月24,274人 2月17,209人 3月7,337人　計56,350人 ・ふれあいスポーツ広場 ・寿パークゴルフ場 シーズン券4件 利用者数442人 **＜令和５年度＞** ・中頓別町寿スキー場 リフト輸送人員 12月6,025人 1月21,946人 2月19,261人 3月7,995人　計55,227人 ・寿パークゴルフ場 シーズン券41件 利用者数622人	○振興公社による指定管理、冬季スポーツによる体力の向上、健康増進のため、歩くスキーコースを常時整備し愛好者の利用向上が図られた。 ○ふれあいスポーツ広場は前年まで野球での使用しかなかったが、サッカーでの利用もあった。 ●悪天候等が原因で寿スキー場の利用が前年より減っている。 ◇寿スキー場やふれあいスポーツ広場、寿パークゴルフ場を使用してもらえるような仕組みづくりを検討する。	○振興公社による指定管理、冬季スポーツによる体力の向上、健康増進のため、歩くスキーコースを常時整備し愛好者の利用向上が図られた。 ●ふれあいスポーツ広場の利用については、町で開催する事業の外は利活用がない状況である。 スキー場においては、スキー利用者は減少傾向にあるが、スノーボードの利用者は増加している。 ◇寿公園の遊具について、老朽化が著しく、遊具を利用中にケガが発生した事案もあり、公園遊具を含めた再整備が必要である。

③地域文化の振興と文化財の保護

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
町民文化推進事業	地域の個人・団体サークルや、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、それぞれの活動を知ることや、お互いの交流を深める。また、地域的に優れた芸術文化に接する機会が少ないため、優れた芸術作品に接する鑑賞機会を設ける。 中頓別町の文化及びスポーツの振興発展に寄与し、特に実績の顕著な方の表彰に関する必要な事項を定め、中頓別町の文化及びスポーツの普及振興に資することを目的とする。 【事業内容】 **<令和4年度>** ○文化週間 10/29～12/3 ○文化祭　10/29～10/30、12/3 ○町民芸術鑑賞会 こども園遊戯 個人ピアノ発表 ○文化スポーツ表彰 ・スポーツ優良賞 村田　地広　氏 **<令和5年度>** ○文化週間 10/22～11/5 ○文化祭　11/4～11/5 ○町民芸術鑑賞会 こども園遊戯 個人ピアノ発表 道民芸術祭（俳句大会） ハワイ語学研修発表会 ○文化スポーツ表彰 ・スポーツ優良賞 土屋　湖白　氏 斎藤　蒼空　氏 澤里　亜琥　氏 能澤　珀月　氏 能澤　柚月　氏	○本町の伝統ある文化芸能活動に関わる機会、新しい芸術にふれる機会として、町民文化祭を実行委員会形式により開催した。 文化団体会員の高齢化により、各サークル会員の減少や活動が縮小傾向にあるが、活動ができるように、活動日時の工夫などにサポートした。 パネルの組み立てなどは実行委員で行ってもらうこととした。 ●文化祭時に団体からパネルの枚数を指定されるが、希望に添える枚数を出すことができていないため、パネルの有効活用ができるように工夫する。 ◇文化祭プログラムの工夫のため関係団体と意見交換をしながら再考する。また、実行委員会で楽しめる文化祭を企画していきたい。	○本町の伝統ある文化芸能活動に関わる機会、新しい芸術にふれる機会として、町民文化祭を実行委員会形式により開催した。 郷土芸術祭（俳句大会の開催） ●文化団体会員の高齢化により、各サークル会員の減少や活動が縮小傾向にある。 ◇展示会場となる町民センターが手狭になり、展示や発表について各団体サークルと協議し、有意義な会場設営と展示発表となるよう検討する。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
芸術文化公演事業（児童生徒芸術鑑賞事業）	日頃、舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童・生徒を対象に学校体育館等の身近な会場で舞台芸術を鑑賞する場を提供し、次代を担う児童・生徒の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し、大切にする心を養うため開催する。（財源充当を図るため、毎年、北海道巡回小劇場へ補助要望を進める） 【事業内容】 **＜令和4年度＞** 巡回小劇場の実施がなかったため中止 **＜令和５年度＞** １０月５日 春風亭柳太郎 「学校大喜利」	●巡回小劇場の実施がなかったため、芸術文化公演を行うことができなかった。 ◇優れた芸術作品を鑑賞し、園児、児童、生徒が自ら発表する学芸会や学校祭に役立つ講演会となる演目となるよう、学校関係者とも意見交換を行いながら進める。また、近年音楽系の作品が多いため、学校の希望に添えるものを進められるように準備する。	○道の巡回小劇場による文化公園の開催。春風亭柳太郎による「学校大喜利」の開催 小学校 57 名、中学校 29 名 ◇日頃、芸術文化を鑑賞する機会は少ない中、児童生徒、一般町に舞台鑑賞の機会を提供できるよう、学校や関係団体と協議し継続した取り組みとする。
各種文化団体支援事業	各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が支援し、文化スポーツ振興に寄与する。 【事業内容】 **＜令和4年度＞** ・道民芸術祭　10 月 29 日～10 月 30 日 **＜令和５年度＞** ・道民芸術祭　10 月 1 日 俳句大会	○幌延町で行われた道民芸術祭俳句大会に中頓別町文化団体のやまなみ吟社が参加し、支援することができた。 ●文化団体会員の高齢化により、作品出展や出演について支援する準備をするが、参加等に至っていない。 ◇芸術文化の継承につながるように新規会員の発掘への取り組みをサポートし、若返りを図る。また、文化団体が他市町村の芸術祭に出られるよう支援する。	○中頓別町を当番町として、俳句大会を開催した。 ３町村の参加であったが、やまなみ吟社を中心に開催。 ●文化団体の高齢化と会員減少に伴い、運営が課題である。本町の文化団体の現状から展示主体の開催が適当である。 ◇芸術文化の継承につながるように新規会員の発掘への取り組みをサポートし、若返りを図る。

施策項目	取り組み概要	令和４年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性
中頓別文化塾	教育関係者を講師に招き、道内や全国各地における教育の現状を把握するとともに、住民が地域に対して興味関心を持ってもらうことを目的とする講演会を開催する。 【事業内容】 **＜令和4年度＞** ・第１回文化塾　30名 「ダンスによるまちづくり」 宗谷ダンスプロジェクト　代表 小笠原　雄輝氏 ・第２回文化塾　22名 「逆境の今こそ、教育立村への挑戦～人口１６００人の自治体×自然学校NPO、信念ある低空飛行を続ける～」 青森大学社会学部特任教授 NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター　代表理事 辻　英之氏 **＜令和５年度＞** ・第１回文化塾　120名 「自分とみんなで創る新しい学校」　SE-NOによるライブディスカッション	●幅広く周知をする必要があり、できる限り会議や文化団体、スポーツ協会が集まる場に顔を出し、１人でも多く周知できるよう取り組む必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施してきた。 ◇次年度以降も引き続き事業を実施する。 地域住民に興味関心を持ってもらう講演会等を企画していきたい。また、子どもを巻き込むことで多くの参加者が見込めるため、そのような講演会を企画したい。	○新しい学校づくりと連携し、音楽コンサートと新しい学校の意見交換を開催した。 ●２回の文化塾の開催を予定していたが、講師との日程調整が不調となり１回の開催となった。 ◇次年度以降も学習機会の提要の拡大のため、引き続き事業を実施する。
文化財保護委員会運営事業	本町の区域内に所在する文化財(国又は道の指定するものを含む)の、保全及び活用のため必要な措置を講じ、文化財の保全保護と活用に資する。 【事業内容】 **＜令和4年度＞** ・調査活動　５月２４日４名 **＜令和５年度＞** ・調査活動　５月２０日 ７名	○高山植物群の調査を文化財保護委員と教育委員会職員で調査した。 ◇高山植物群の一般公開の可能性について、引き続き第三者からの助言を得ながら検討する。また、文化財保護委員の高齢化に伴い、新しい人材を発掘する。	○高山植物群の調査を文化財保護委員と教育委員会職員で調査した。 広報担当の随行により、文化財保護委員の活動について主知した。 ●高山植物の公表の可否 ◇高山植物群について、盗掘やがけ崩れ等による被害はないが、年々、植栽が減少しているため、継続した観察活動が必要である。

令和５年度　学校・家庭・地域の連携による教育支援活動　実績報告

【学校支援地域本部事業】

1．学校活動への支援活動

①中頓別小学校

事業		開催日	場所	内容	対象	教育支援員等
総合学習支援	4年生	7月13日	里芋と蜂蜜	里芋と蜂蜜インタビュー ・インタビュー	4年生	【里芋と蜂蜜】 2名
		7月21日	役場　会議室	まちづくり担当インタビュー ・インタビュー	4年生	【産業課】 2名
		8月23日	小学校	森林教室（座学） ・オリエンテーション ・樹種について ・森の役割について ・林業、植樹について	4年生	【指導林家】 峰友武氏 【森林室】 2名 【北海道教育大学旭川校】 芳賀准教授、生徒2名
		8月29日、9月4日、7日、8日	小学校図工室	楽器作り ・楽器作成（木工） ・割合（算数）について ・和音について ・音階について ・作曲・即興演奏	4年生	【北海道教育大学旭川高】 芳賀准教授、生徒4名
		9月5日	鍾乳洞自然ふれあい公園	森林教室（ネイチャーゲーム） ・ネイチャーゲーム ・カモフラージュ ・鍾乳洞からの挑戦状	4年生	【教育委員会】 加藤主任 【教育支援員】 吉田光良氏 【北海道教育大学旭川高】 芳賀准教授、生徒4名
		10月11日	旭台地区山林（楽器演奏、植樹体験）	植樹体験 ・楽器演奏 ・植樹体験	4年生	【指導林家】 3名 【森林室】 平瀬技師 【林務課】 2名 【北海道教育大学旭川校】 芳賀准教授
		3月8日	小学校	東野小学校Zoom交流授業 ・自己紹介 ・発表、感想 ・質問コーナー（自由交流）	4年生	【東野小学校】 ・木原教諭 ・5年生担任教諭 ・5年生児童 ・平岡氏（ICT支援員）

	5年生	12月8日	小学校	認知症サポーター養成講座	5年生	【保健福祉課】3名
		12月13日	老人ホーム長寿園	長寿園見学 ・施設見学 ・利用者の生活について ・介護の仕事について ・質疑応答	5年生	【老人ホーム長寿園】 2名
	6年生	9月15日	小学校	キャリアについて（政策経営課出前授業） ・Webサイト「人生の選択」動画視聴 ・児童より感想発表	6年生	【政策経営課】 虎井秀太氏 【Studio·L】 2名
		11月10日	小学校	ヤマフクコーヒーについて ・飲食店の仕事について	6年生	【ヤマフクコーヒー】 蓮尾愛氏
		12月11日	小学校	森林組合について ・森林組合の仕事について	6年生	【森林組合】 峰友武氏 【森林室】 平瀬技師
		12月12日	小学校	酪農について ・酪農家の仕事について	6年生	澤里尚広氏
		2月7日	小学校	地域について ・植村氏の仕事について ・地域と関わっていくことについて ・地域の魅力発見・発信について ・地域かるた作り	6年生	【保健福祉課】 植村友貴氏
	5、6年生	2月9日	小学校	なかとんスクール（小学校） ・理学療法士の仕事について ・バランスゲーム	5,6年生	井野拓実氏
	4～6年生	2月8日	小学校	総合学習発表会 ・各学年の総合学習の成果発表	4~6年生	
生活科	ヤマフクコーヒー訪問	10月18日	ヤマフクコーヒー	2年生まちたんけん「ヤマフクコーヒー訪問」 ・店内見学 ・設備・機材見学 ・仕事について ・質疑応答	2年生	【ヤマフクコーヒー】 蓮尾愛氏

	里芋と蜂蜜訪問	10月19日	里芋と蜂蜜	2年生まちたんけん「里芋と蜂蜜訪問」 ・店内見学 ・仕事見学 ・質疑応答	2年生	【里芋と蜂蜜】 2名
	裁判所見学	11月6日	簡易裁判所	2年生まちたんけん「裁判所見学」 ・施設見学 ・裁判所クイズ ・記念撮影 ・質疑応答	2年生	【簡易裁判所】
	図書館訪問	11月29日 12月12日	郷土資料館図書室	2年生まちたんけん「図書館訪問」 (11月29日) ・図書館見学 ・本の借り方について (12月12日) ・インタビュー	2年生	【郷土資料館図書室】 松田留美氏
国語	除雪車見学	9月13日	北海道開発局除雪ステーション	1年生「はたらくくるま」除雪車両見学 ・除雪車についての説明 ・乗車・操作体験	1年生	【開発局】 【丹羽建設】 計14名
社会科	浄水場見学	6月1日	中頓別浄水場	4年生「住みよいくらしをつくる」浄水場見学 ・施設見学 ・質問	4年生	【浄水場】 鴻上所長 【役場建設課】 2名
	消防署見学	7月12日	南宗谷消防組合中頓別支署	3年生「くらしを守る」消防署見学 ・仕事・訓練について ・車両見学 ・放水体験	3年生	【消防職員】 5名
	下水処理場見学	7月12日	中頓別町下水道管理センター	4年生「住みよいくらしをつくる」下水処理場見学 ・施設見学 ・微生物観察（顕微鏡）	4年生	【下水道管理センター】 4名 【役場建設課】 本田仁大氏
	ごみ処理場見学	9月7日	中頓別町一般廃棄物埋立処理施設	4年生「住みよいくらしをつくる」ゴミ処理場見学 ・施設説明・見学 ・質問	4年生	【中頓別振興公社】 3名

社会科	防災学習会	9月26日	中頓別町役場	4年生「自然災害からくらしを守る」防災学習会 ・防災備蓄品説明 ・物品設置体験	4年生	【役場総務課】市本参事
	スーパー見学	10月10日	フレッシュフードやすかわ	3年生「はたらく人とわたしたちのくらし」スーパー見学 ・店内見学 ・商品、陳列等について	3年生	【フレッシュフードやすかわ】安川裕一氏
	酪農授業	10月12日	小学校	3年生「はたらく人とわたしたちのくらし」酪農授業 ・酪農について	3年生	澤里尚広氏
	農場体験	10月19日	成田牧場	3年生「はたらく人とわたしたちのくらし」農場体験 ・酪農体験 ・酪農クイズ ・質疑応答	3年生	【JA青年部】5名
	茶道	11月8日	町民センター和室	6年生「歴史」茶道 ・四規七則 ・点前	6年生	【茶道サークル】8名
音楽	敬老会発表	9月22日	町民センター大ホール	5，6年生学習発表 ・合唱	5，6年生	【保健福祉課】
学習発表	長寿園	11月1日	老人ホーム長寿園	長寿園学習発表 ・音楽 ・劇	1，2年生	【長寿園】
支援	水泳授業	7、8月 計9回	山村水泳プール	水泳授業支援（全学年）	全校児童	延21名
授業支援	スキー	1、2月 計9回	寿スキー場	スキー授業指導支援(全学年)	全校児童	延37名
クス掛け	スキーワッ	11月21日～12月15日 (土日月祝除)	町民センター	低学年児童のスキー板のワックス掛け	1，2年生	【教育委員会】3名
人権教室		9月20日、21日	小学校	各学年人権教室 ・1、2年生「白い魚とサメの子」 ・3、4年生「とべないホタル」 ・5、6年生「いじめと戦おう」	全校児童	【人権擁護委員】2名 【役場総務課住民G】2名

租税教室	11月15日	小学校	6年生租税教室 ・税に関するビデオ鑑賞 ・質疑応答	6年生	【住民G】 石川課長
ゆめのたねづくり	11月27日	小学校	4年生学活「ゆめのたねづくり」 ・税についてのワークショップ ・ゆめのたねづくり(役場ホールモニュメントへ将来の夢を預ける)	4年生	前田あやの氏 【産業課】 2名
学校環境整備活動 畑おこし	5月16日	小学校 畑	畑おこし		井上光生氏 井上ひとみ氏

②中頓別中学校

事業		開催日	場所	内容	対象	教育支援員等
総合学習支援	1年生	6月23日	中学校	「私と自然」について (パワーポイントを用いての発表会) ・発表会 ・自然について講義	1年生	加藤主任、 (石井友法)
		8月29日	そうや自然学校	自然体験学習 ・工作	1年生	【そうや自然学校】2名
		9月6日	もうもう	牛乳を用いた調理実習	1年生	【もうもう】2名 【産業課】2名
	2年生	6月1日	受入れ先職場	職場体験学習	2年生	各職場
	1～3年生	9月25日	中学校	各学年キャリア教育 ・Webサイト「人生の選択」本編を使用した出前授業	全校生徒	【政策経営課】 2名 【Studio-L】 2名
		2月8日	中学校	なかとんスクール(中学校) ・理学療法士の仕事について ・オリンピックトレーナーについて ・応急処置実践(アイシング)	全校生徒	井野拓実氏
授業支援	柔道	11、12月 計8回	柔剣道場	1、2年生の柔道授業支援	1、2年生	丸山博光氏

人権教室	7月 19日、20日	中学校	各学年人権教室 ・1年生「いじめと戦おう」 ・2年生「インターネットと人権」 ・3年生「スマホの安全な使い方」	全校生徒	【人権擁護委員】2名
いのちの授業	3月 8日、19日	中学校	各学年いのちの授業	全校生徒	【エンドオブライフ・ケア協会認定講師】室田ひろみ氏

③学校図書・読書の支援

小学校	読聞かせ、学級文庫入替、ディスプレイ作成、新刊図書登録、図書室模様替え、図書整理	読み聞かせボランティアサークル このゆびと～まれ！
こども園	絵本の読み聞かせ	

2. 小学校・中学校との定期打合せ
○小学校…毎週火・木 15:00～
○中学校…毎週火　　9:00～
3. 活動紹介（広報周知）
○ボランティア活動便り「たすけ愛」の発行
6、7、8、9、10、11、12、1月の8回発行
○SNSによる紹介（中頓別町FB、教育委員会Instagram）
随時
4. 交流事業（講演会含む）の開催
①夏休み体験学習

開催日	場所	内容	参加人数
8月2日（水）	町民センター、寿公園	写真絵本作成会 講師…小寺卓矢氏	11名

②親子水泳教室

開催日	場所	内容	参加人数
7月25日（火） 8月1日（火） 8月4日（金）	山村水泳プール	親子で水泳の基礎を学び、安全に水泳を楽しむため、地域の経験者に基本的な指導をしてもらい、水泳技術の向上と体力増進を図った。	延22名（登録者15名）

③子どもチャレンジ教室

開催日	場所	内容	参加人数	教育支援員等
7月26日（水） 27日（木） 28日（金）	そうや自然学校、頓別川、食彩工房もうもう	・自然体験活動（川遊び、火起こし、薪割り等） ・キャンプ ・ピザづくり	延66名 内、宿泊（全日程）11名	10名 （内、2名大学生）
1月10日（水） 11日（木）	そうや自然学校、ピンネシリ地区	・雪上運動会、野外活動、キャンプ、焚火（10日） ・野外料理、スノーシュートレッキング（11日）	22名 （内、宿泊11名）	7名 （内、2名大学生）

【なかとんべつ放課後子どもプラン（教室）事業】
参加登録人数　48名

（常時活動）
宿題・プリント　毎日
運動（戸外運動）月３～５回程度
英語タイム　隔週火曜日
おやつ提供　毎週金曜日

（平日）

月	実施日	活動場所	主な活動内容（常時活動を除く）	延人数
4	20	町民センター、町民体育館	作文、絵、開講式（職員紹介、自己紹介、マジックショー）、工作（こどもの日、母の日等）	438
5	20	町民センター、郵便局、小学校周辺、町民体育館、天北厚生園	クリーン作戦、こいのぼり、手紙、種まき、工作、花摘み、植樹体験	379
6	22	町民センター、町民体育館、小学校付近	モルック、工作、ミニ運動会、かけっこ教室、球根掘り、かぼちゃ苗植え、花植え、体操	471
7	20	町民センター、小学校校庭	工作（お祭り）、桜の実採り、プラン祭、染物教室	442
8	22	町民センター、認定こども園	工作、モルック、人形劇鑑賞	404
9	20	町民センター、小学校校庭、憩いの広場	手紙、折り紙、森林教室（講座）、異文化体験 WS、ミニ運動会	522
10	21	町民センター、寿公園、小学校周辺	松ぼっくり拾い、工作（ハロウィン、文化祭作品）、かぼちゃ収穫、花炭、花壇整備、ハロウィンパーティー	519
11	20	町民センター	工作（文化祭作品）、チューリップ球根植え、オセロ大会、じゃんけん大会、モルック、工作（クリスマス）	387
12	21	町民センター	クリスマスツリー飾りつけ、工作(クリスマス、20歳を祝う会)	415
1	18	町民センター	工作（節分）、豆まき会準備、お面配り	286
2	19	町民センター	節分会、アイスキャンドルづくり、工作（ひな祭り）、スライドショー扉絵作成、作文	431
3	20	町民センター、認定こども園	ひな祭り会、手紙、健康支援体操参加、工作（プレゼント）、6年生を送る会兼閉講式（司会、スライドショー）、避難訓練参加	409
合計	243日			5,103人

（うち、長期休業期間中）

月	実施日	活動場所	主な活動内容（常時活動を除く）	延人数
4	4	町民センター	自己紹介、館内案内（ウォークラリー）、工作	70
7	4	町民センター、小学校校庭、図書館、山村プール	図書館へ行こう、水遊び、シャボン玉、音楽レク、プール	63
8	12	町民センター、小学校校庭、寿公園、山村プール	写真絵本作り参加、工作（七夕飾り）、森林教室（木工：積み木づくり）、科学で遊ぼう、プール、アクアビクス、理科実験教室、書道教室、水遊び、ゴルフ	168
12	4	町民センター、小学校校庭、図書館、町民体育館	カレンダー作り、雪上運動会、図書館へ行こう、大掃除	55
1	8	町民センター、食彩工房もうもう	正月遊び、工作（節分、クラフトテープ、アイロンビーズ）、音楽レク、そり作り、チーズ作り体験	103
3	4	町民センター、図書館、郷土資料館	図書館へ行こう、工作（プレゼント）、郷土資料館見学、大掃除	57
合計	36 日			516 人

【家庭教育支援事業】

①ブックスタート（読み聞かせ、本のプレゼント）

開催日	令和５年５月 18 日（木）、８月 17 日（木）、11 月 16 日（木） 令和６年２月 15 日（木）
目的	幼児期のことばと心を育むため温かなぬくもりの中で、優しく語り合う時間を設け、親子で絵本を開く楽しいひとときを分かち合うことを目的とする。
場所	保健センター
講師	図書ボランティアサークル
参加者	８名（対象８名）

②キッズスキー教室（こども園年長児）

開催日	令和5年1月17日（水）、1月19日（金）、1月22日（月）（同日2回）
目的	冬季屋外活動を実施し、スキー体験やボブスレー、雪遊びなどを行う中で雪に親しむ心を養い、屋外活動の促進定着を目指す。特に、スキーについては小学校入学後のスキー授業へのスムーズな導入を目標とする。
場所	寿スキー場
講師	こども園大島園長、スキー協会５名、教育委員会３名
参加者	こども園年長児 12 名、延 22 名

③スキーワックス掛け事業

開催日	令和５年 11 月 21 日より令和５年 12 月 15 日（土日月祝日除く）
場所	町民センター
支援員	教育委員会３名
目的	こども園園児がスキーシーズン初めから安全に滑れるよう、スキー板へのワックスがけを実施。（小学校低学年への学校支援事業としても実施している。）

④こども園人権教室

開催日	令和５年 11 月 30 日（木）
場所	こども園
講師	井野人権擁護委員
目的	友達への優しい言葉がけや行動について話し、思いやりの心について考える時間とする。

⑤こども園年長児お茶会

開催日	令和６年３月５日（火）
場所	町民センター
支援員	茶道サークル　９名
目的	茶道の規律・規範に触れ学校生活に必要なルールを守る心を育む。

【資　料】

宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況

項　目	日　程	指導者(訪問者)	訪問先等	指導内容等
学校教育指導（学校経営訪問）一次訪問	05.5.25	義務教育指導監・義務教育指導班指導主事・社会教育指導班（Zoom 開催）	中頓別小学校	○学校経営計画等についての説明 ○学校経営や授業について指導監よりの教示
	05.5.26		中頓別中学校	○学校経営の概要説明 ○指導監より指導・助言
学校教育指導（学校経営訪問）二次訪問	05.09.12	義務教育指導班指導主事（直接訪問）	中頓別中学校	○授業参観（全教室） ○教育課程等の説明 ○研究協議 ○指導主事からの指導・助言
	05.12.11	義務教育指導班指導主事（直接訪問）	中頓別小学校	○教育課程等に関する協議 ○全学年授業参観 ○授業改革等に関する指導助言
学校教育指導要請訪問	05.07.18	義務教育指導班指導主事（直接訪問）	中頓別中学校	○授業参観（数学・美術） ○授業に関する指導助言 ○学校研究への指導助言
	05.8.18	義務教育指導班指導主事（web 訪問）	中頓別小学校	○特別支援教育に関わる講義・演習・協議
	05.9.11	義務教育指導班指導主事（web 訪問）	中頓別小学校	○道徳科に関わる講義・演習・協議
	05.12.15	義務教育指導班主査（直接訪問）	中頓別中学校	○授業参観（音楽・保健体育科） ○研究協議 ○新学習指導要領の３つの観点に即した評価・評定の在り方について、効果的な校内研修の在り方について指導助言
義務教育指導監学校経営指導訪問（支援）	05.11.7	義務教育指導監（直接訪問）	中頓別中学校	○検証改善サイクルシートに基づいた、授業改善の進捗について ○授業視察による、各教科の授業改善プランの実施状況について ○学校における働き方改革の進捗について

令和5年度　　社会教育関係施設　利用状況

■町民センター

年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
部屋別	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
大ホール	32	866	49	1,883	58	881	116	2,909
第1研修室	49	188	42	203	81	287	79	338
和室1・2	106	495	114	546	482	5,181	249	6,244
第2・3研修室	70	896	71	1,422	55	1,091	67	655
レク室	42	318	28	199	65	643	83	729
視聴覚室	1	8	1	8	2	11	0	0
調理室	86	320	78	346	47	537	44	320
茶室	32	147	38	209	39	172	32	166
青少年研修室	7	54	7	51	12	65		
応接室	243	4,781	242	6,608				
計	668	8,073	670	11,475	841	8,868	670	11,361
使用料(円)	84,277		99,583		130,098		214,073	

※令和4年度より応接室は教育長室となったため貸館していない。

※令和5年度より青少年研修室は新しい学校づくり推進室になったため貸館していない。

■郷土資料館

区分			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館日数			283	242	308	309
有料	大人	個人	103	87	142	180
		団体	0	0	0	0
	小人	個人	4	0	6	5
		団体	0	0	0	0
	計		107	87	148	185
	使用料合計		12,600	10,440	17,400	21,900
無料	大人		10	16	66	19
	小人		33	7	30	23
	計		43	23	96	42
合計			150	110	244	227

■青少年柔剣道場

《 柔剣道場 》

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
柔道	回数	0	8	8	8
	人数	0	64	47	75
剣道	回数	114	76	89	82
	人数	1,178	581	468	381
その他	回数	17	36	45	45
	人数	110	209	368	272
合計	回数	131	120	142	135
	人数	1,288	854	883	728
使用料(円)		14,900	17,250	18,840	16,520

※使用料に研修室有料分含む

《 研修室 》

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
無料	回数	13	18	16	9
	人数	63	75	80	40
有料	回数	0	0	0	1
	人数	0	0	0	2
計	回数	13	18	16	10
	人数	63	75	80	42

《 図書室 》

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館日数		283	301	308	308
利用者数	一般	720	852	980	784
	中高生	21	25	23	24
	小学生以下	447	541	621	450
	計	1,188	1,418	1,624	1,258
貸出冊数	一般	3,039	3,056	3,385	2,560
	中高生	61	113	126	51
	小学生以下	1,431	1,698	1,732	1,438
	道移図書	38	58	41	12
	計	4,569	4,925	5,284	4,061
	うち児童書	2,771	2,957	2,622	2,070

■小頓別多目的集会施設利用状況

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
無料	利用日数	4	0	4	7
	利用人数	53	0	41	54
有料	利用日数	0	0	2	0
	利用人数	0	0	30	0
	使用料	0	0	14,360	0
合計	利用日数	4	0	6	7
	利用人数	53	0	71	54

■創作活動施設使用状況

利用別	団体名	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			備考
		人数	回数	述べ人数	人数	回数	述べ人数	人数	回数	述べ人数	人数	回数	述べ人数	
無料	やまなみ吟社(俳句会)	7	8	51	6	4	24	6	7	42	6	2	12	毎月第3水曜日
	陶芸サークル	7	35	140	7	45	133	6	38	118	5	36	104	4月～10月第2、第4、火曜、水曜
	文化協会	7	1	7										5月
	子ども安全パトロール隊													7月
	パークゴルフ協会会議													5月、11月
	ゲートボール協会会議													
	教育委員会関係行事													放課後子どもプラン
	白百合会													
	中頓別吹奏楽団													
	中頓別駐在所										2	252	504	
	小計	21	44	198	13	49	157	12	45	160	13	290	620	
有料	パークゴルフ協会総会													
	個人1													
	個人2													
	個人3(教育支援活動運営委員会)													
	個人4													
	パークゴルフ協会忘年会													
	ゲートボール協会新年会													
	こども安全パトロール隊													
	中頓別神社総代会													
	教職員互助会													
	中頓別神社祭典実行委員会													
	中頓別吹奏楽団													
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	使用料計	0			0			0			0			
	合計	21	44	198	13	49	157	12	45	160	13	290	620	

■学校開放
《中頓別小学校体育館》

区　分	使用料		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
卓球スポーツ少年団 ※卓球協会と合同で活動	無料	回数	4	26	2	0
		人数	33	179	40	0
フットサル少年団　水		回数	30	17	29	32
		人数	308	255	412	312
ミニバスクラブ 火(～令和2年度) ミニバス少年団　金(令和3年度～)		回数	31	31	34	25
		人数	561	606	1,032	490
中頓別中学校		回数	18	21	20	20
		人数	231	267	249	228
教育委員会 (体力テスト会)		回数			2	2
		人数			90	79
スキー少年団		回数				
		人数				
その他		回数				
		人数				
小　計		回数	83	95	87	79
		人数	1,133	1,307	1,823	1,109
バスケットボール協会 火	有料	回数	20	14	3	3
		人数	87	121	31	19
サッカー協会　水		回数	16	13	1	
		人数	149	92	9	
卓球協会　木		回数	16	17	36	39
		人数	61	34	562	629
スポーツしない会？　土		回数	24	24	29	31
		人数	99	83	120	131
野球部(仮)　金		回数				
		人数				
走友会　月		回数	31	27	30	21
		人数	87	96	134	50
フットサル		回数			21	31
		人数			202	279
その他		回数				
		人数				
長寿園		回数				
		人数				
小　計		回数	107	95	99	94
		人数	483	426	856	829
合　計		回数	190	190	186	173
		人数	1,616	1,733	2,679	1,938
使用料(円)			25,230	36,500	32,360	56,180

■社会体育施設
《町民体育館団体利用状況》

区　分	使用料		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ゲートボール協会 (月・水・木・日)	有料	回数	56	83	100	107
		人数	504	588	486	618
卓球愛好会　月・火・木		回数	1	57	57	61
		人数	19	136	109	119
バレーボール協会　月・木		回数	35	25	40	43
		人数	332	307	536	507
育児婦人運動部　火・金		回数				
		人数				
ミニバレー愛好会　水		回数	44	28	41	43
		人数	399	252	372	388
ミニバレーを楽しむ会　金		回数	7	3	0	0
		人数	67	22	0	0
パークゴルフ協会		回数				
		人数				
バドミントン愛好会　火		回数				
		人数				
スポーツしない会？　土		回数	4	3	4	4
		人数	16	11	18	13
卓球協会　土		回数	1	1		
		人数	19	14		
走友会　月・火		回数	12			
		人数	36			
その他		回数			2	14
		人数			2	14
小　計		回数	160	200	244	272
		人数	1,392	1,330	1,523	1,659
中頓別中学校	無料	回数	29	17	39	30
		人数	295	135	219	203
小　計		回数	29	17	39	30
		人数	295	135	219	203
合　計		回数	189	217	283	302
		人数	1,687	1,465	1,742	1,862
使用料(円)			139,200	126,800	125,510	134,350

■山村水泳プール

年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館日数			70	52	65	65
時間帯別	午前	大人	53	80	95	72
		小人	163	233	228	179
	午後	大人	125	190	186	151
		小人	522	595	554	425
	夜間	大人	38	6	14	29
		小人	38	2	32	22
料金別	有料	午前	22	45	56	17
		午後	114	140	126	89
		夜間	0	6	0	0
	無料	団体	281	384	466	433
		小人(団体除く)	468	531	450	316
人数計			885	1,106	1,098	855
使用料(円)			13,600	19,100	18,200	10,200

■寿野外レクリエーション施設

《寿スキー場 リフト券販売状況》

区　分	対象	単価	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
シーズン券	大人	13,000	49	637,000	69	897,000	69	897,000	68	884,000
	高校生以下	7,000	58	406,000	63	441,000	65	455,000	67	469,000
	60歳以上	7,000	18	126,000	21	147,000	15	105,000	17	119,000
				0		0		0		0
回数券 (11回券)	大人	1,300	469	609,700	471	612,300	408	530,400	254	330,200
	高校生以下	800	336	268,800	279	223,200	236	188,800	236	188,800
	60歳以上	800	14	11,200	6	4,800	10	8,000	9	7,200
1 日 券	大人	1,950	191	372,450	159	310,050	271	528,450	206	401,700
	高校生以下	1,200	174	208,800	135	162,000	102	122,400	153	183,600
	60歳以上	1,200	7	8,400	2	2,400	8	9,600	7	8,400
1 回 券	大人	130	210	27,300	261	33,930	213	27,690	213	27,690
	高校生以下	80	174	13,920	241	19,280	103	8,240	103	8,240
	60歳以上	80	1	80	3	240	7	560	7	560
団　体		1,300	0	0	0	0	0	0	0	0
		800	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ員	8,000	5	40,000	6	48,000	5	40,000	5	40,000
	大人減免	1,300	0	0	0	0	65	84,500	65	84,500
	高校生以下減免	480	0	0	0	0	412	197,760	412	197,760
	学校授業大人	780	155	120,900	193	150,540	175	136,500	175	136,500
	学校授業小人	480	807	387,360	851	408,480	757	363,360	757	363,360
計				3,237,910		3,460,220		3,703,260		3,450,510
合計				3,237,910		3,460,220		3,703,260		3,450,510
営業日数／リフト輸送人員			86日／55,445人		73日／59,680人		81日／56,350人		76日／55,227人	

※月別リフト輸送人員

	R2	R3	R4	R5	営業日
12月	9,218	8,470	7,530	6,025	9
1月	23,161	24,056	24,274	21,946	28
2月	16,036	18,588	17,209	19,261	29
3月	7,030	8,566	7,337	7,995	10
計	55,445	59,680	56,350	55,227	76

《 パークゴルフ場 》

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
シーズン券町内	51	204,000	49	196,000	4	16,000	41	164,000
シーズン券町外	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	51	204,000	49	196,000	4	16,000	41	164,000
1日券町内	150	30,000	156	31,200	162	32,400	173	34,600
1日券町外	166	49,800	112	33,600	280	84,000	449	134,700
小計	316	79,800	268	64,800	442	116,400	622	169,300
合計	367	283,800	317	260,800	446	132,400	663	333,300

《 テニスコート 》

区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
区分	使用料	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
町内	200	5	1,000	17	3,400	3	600	3	600
町外	300	19	5,700	40	12,000	15	4,500	16	4,800
計		24	6,700	57	15,400	18	5,100	19	5,400

教育関係団体活動状況

□体育団体関係

令和5年3月31日現在

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	活動日	活動時間
スポーツ協会	1	サッカー協会	工藤　正勝	桜田　正考	小学校体育館 ふれあいスポーツ広場(夏期のみ)	毎週水曜日	19:00～21:00
	2	バスケットボール協会	古谷　裕一	福島　靖弘	小学校体育館	毎週火曜日	19:00～21:00
	3	バレーボール協会	寺島　寛	古谷　真澄 奥山　千秋	町体育館	毎週月・木曜日	19:00～21:00
	4	スキー協会	千田　和彦	長谷川克弘	寿スキー場	シーズン中	随時
	5	走友会	石神　忠信	石神　忠信	通年 冬期:小学校体育館	随時 冬期:月曜日	随時 19:00～21:00
	6	パークゴルフ協会	赤川　慶一	内田　昌治	寿公園パークゴルフ場	5～10月 随時	5:00～12:00 13:00～19:00
	7	ゲートボール協会	川久保克孝	藤井　富子	夏期:メモリアルパーク 冬期:町民体育館	夏期:随時 冬期:日・月・水・木・土曜日	8:30～11:30
	8	野球連盟	今野　真二	星川　慎吾	夏期:ふれあいスポーツ広場 冬期:小学校体育館	夏期:月・水・金曜日 冬期:金曜日	18:00～20:00
	9	剣道連盟	十倉　仁	渋谷　義深	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	10	柔道協会	後藤　敏直	丸山　博光	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	11	卓球協会	長谷川克弘	本間　智久	小学校体育館	毎週木曜日	19:00～21:00
スポーツ少年団	1	剣道少年団	渋谷　義深	渋谷　義深	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	2	柔道少年団	丸山　博光	古谷　裕一	青少年柔剣道場	毎週土曜日	15:00～17:00
	3	卓球少年団	平山　翔一	平山　翔一	小学校体育館	毎月1～2回土曜日	10:00～12:00
	4	フットサル少年団	桜田　正考	桜田　正考	小学校体育館	毎週水曜日	17:30～19:00
	5	寿スキー少年団	長谷川克弘	野田　繁実	寿スキー場	シーズン中 土・日曜日、祝日	10:00～12:00 又は 13:00～15:00
	6	ミニバスケットボール少年団	石川　章人	石川　章人	小学校体育館	毎週金曜日	17:30～19:00
愛好会・サークル	1	卓球愛好会		武田　静子	町体育館	毎週月・火・木曜日	13:00～15:00
	2	ミニバレーを楽しむ会	小倉　弘	小倉　弘	町体育館	毎週金曜日	19:00～21:00
	3	バドミントン愛好会		五家　幸惠	町体育館	毎週火曜日	19:00～21:00
	4	ミニバレーボール愛好会	寺島　晴代	奥山　千秋	町体育館	毎週水曜日	19:00～21:00
	5	育児婦人運動部	休会中				
	6	スポーツしない会？	長谷川克弘	本間　智久	小学校体育館	毎週土曜日	19:00～21:00

教育関係団体活動状況

□文化団体関係

令和5年3月31日現在

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	活動日	活動時間
文化協会	1	やまなみ吟社(俳句)	武田　哲雄	武田　哲雄	創作活動施設ゆめくらぶ ※12～3月町民センター第1研修室	毎月第3水曜日	19:00～21:00
	2	日本詩吟学院岳風会 中頓別支部(詩吟)	小林奈々子	小林　嘉治	町民センター第1研修室	月1回	13:00～15:00
	3	茶道サークル		石井　佳美	町民センター茶室	隔週火・土曜日	13:00～15:30
	4	東海林社中(華道)	休会中				
	5	陶芸サークル	姉歯　裕子	高口　智子	創作活動施設ゆめくらぶ	5月～11月 第2・第4火・水曜日	13:00～15:00 19:00～21:00
	6	絵手紙クラブ	高橋　妙子	高橋　妙子	青少年柔剣道場研修室	第2・第4水・木曜日	水　19:00～21:00 木　13:00～15:00
	7	ミックスグループ	休会中				
	8	あかねカラオケサークル	休会中				
	9	知足会(茶道)	休会中				
	10	しあわせカラオケ会	天野　宣子	天野　宣子	町内各所	月1回	18:00～20:00
	11	彩北絵画クラブ(絵画)	東海林繁幸	東海林繁幸		随時	
	12	寿カラオケサークル		峰友恵美子	町民センター　出演者控室	毎週金曜日	13:00～16:00
	13	囲碁愛好会	岩田　利雄	杉本　吉春	町民センター　出演者控室	10月～3月 毎週火・木曜日	13:00～16:00
	14	中頓別吹奏楽団	水野　秀洋	水野　秀洋	創作活動施設ゆめくらぶ 町民センター　大ホール	毎週水曜日	18:00～21:00
	15	和太鼓団一雷峯一	パショーン・ダリン・英男	パショーン・ダリン・英男	町民センター　大ホール(ステージ)	毎週火・木曜日	火　18:45～21:00 木　19:00～21:00

□その他教育関連団体関係

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	主な活動内容
その他	1	読み聞かせボランティアサークル「このゆびと～まれ♪」	太田　美千代	郷土資料館	青少年柔剣道場研修室(和室)	絵本の読み聞かせ等のボランティア活動
	2	スピン会	石黒　由里子	石黒　由里子	地域づくり活動支援センター 町民センター　第一研修室	羊毛による編み物